

イーハトーブ

第25・26合併号
2011

巻頭言・寄稿・第63期薬剤師会通常総会・会務報告・
理事会報告・委員会の動き・保険薬局部会から・
支部の動き・学校薬剤師部会から・検査センターのページ・
薬連だより・東日本大震災・質問に答えて・
知っておきたい医薬用語・気になるサプリメント・
リレーエッセイ・話題のひろば・職場紹介・会員の動き・
保険薬局の動き・求人情報・図書紹介

編集・発行／社団法人岩手県薬剤師会 平成23年8月10日



石座・賢治像（盛岡市材木町）

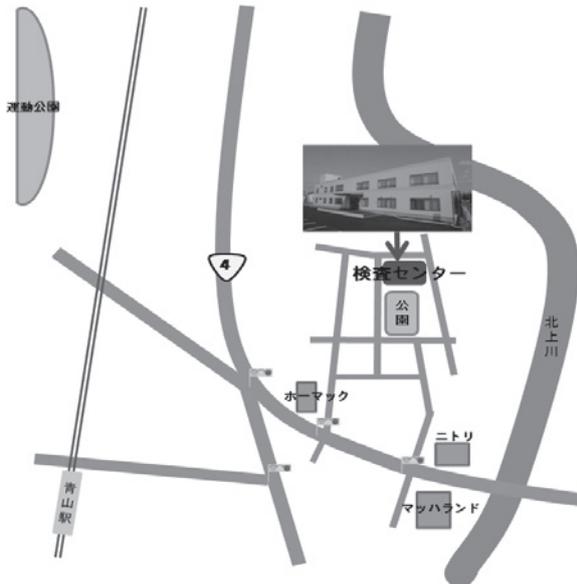
賢治にゆかりの深い光原社がある材木町のメインストリート「イーハトーブアベニュー」には賢治像「石座」があります。石の採掘場で休む賢治を描いているそうです。通りにはその他、5つのモニュメントがあり、賢治の世界が広がります。

平成 23 年 7 月 19 日から検査開始

放射性物質検査のご案内

放射性物質の検査を開始いたします。
飲料水、食品、土壌等の安全確認にご利用ください。

検査対象	飲料水・プール水、食品（農水産物）、土壌・汚泥等、その他
検査項目	放射性ヨウ素（I-131）、放射性セシウム（Cs-134, Cs-137） ※3核種それぞれの測定値をご報告いたします。
検査方法	Nal(Tl)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法 (S49 文部科学省/科学技術・学術政策局/原子力安全課防災対策室)
検出限界	10Bq/kg～20Bq/kg（検査対象品によりますのでご確認ください）
検査手数料	飲料水等 13,000 円（税別）、その他 15,000 円（税別）
検体量	液体：2 リットル、食品等（可食部）：2 k g、土壌・汚泥等：500 g
報告日数	3～5 営業日
搬入方法	検体ごとにポリ瓶やチャック付ビニール袋に密閉してご持参ください (宅急便可)
注意事項	① 完全予約制とさせていただきます。 ② 検査終了後の検体は返却するか破棄し、保管いたしません。



社団法人 岩手県薬剤師会
会営

岩手県医薬品衛生検査センター

〒020-0125

盛岡市上堂三丁目 17 番 37 号

電話：019-641-4401

F A X：019-641-4792

E-mail：info@iwayaku-kensa.jp



計量証明事業所（濃度）、厚生労働省登録水質検査機関、厚生労働省登録簡易専用水道検査機関、厚生労働省登録医薬品検査機関、厚生労働省食品衛生登録検査機関、建築物飲料水水質検査業登録機関、温泉成分分析登録検査機関、作業環境測定機関、向精神薬試験研究施設登録、衛生検査所登録、ISO9001 認証取得

— 東日本大震災に想う —

(社)岩手県薬剤師会

会長 畑 澤 博 巳

平成23年3月11日（金）14時46分とてつもなく大きなそして長い揺れが東北地方を襲いました。岩手県薬剤師会ではすぐに薬剤師会館に対策本部を立ち上げ会員の安否情報の収集に努めましたが電気も電話も通じない環境では成すすべもなくただ時間が過ぎて行く状況に無念さを感じ得ませんでした。

電気が復旧したのは3月14日の月曜日であり、その後テレビ等で被災地の情報を見るにつけその被害の甚大さに対策本部として何から着手すべきか大いに戸惑いました。

そのような時、最初に支援物資を持って駆けつけてくれたのが青森県薬剤師会でありました。阪神淡路大震災に駆けつけた経験を生かし初動のアドバイス等をしていただき大いに参考になりました。

今回の震災は過去に起こった震災とは異なり、広大な地域が消滅している水害であることから、支援活動も過去のマニュアル通りには行かない事がたくさんありました。

そのひとつが支援物資の供給体制であります。主要道路が寸断されたことから被災地に必要な医薬品の供給が困難になり、さらに輸送に必要なガソリン不足がこれに追い打ちをかけました。また、救護所における被災地支援薬剤師の活動に於いても、医薬分業が進んだ結果、救護所からの災害処方箋が数多く発行され、被災を免れた現地の数少ない薬局においては、日中の保険調剤が終了後、深夜まで災害処方箋による調剤を行うなど重い負担が強いられました。そのような中、各県から派遣された薬剤師の方々や県内各支部の被災地支援薬剤師の方々には調剤はもちろん集積所における医薬品の仕分けや救護所におけるOTC薬の服薬指導など積極的に活動していただき、どれほど被災地の薬剤師が体力的に、精神的に助けられたか分かりません。また、被災地に入っている各県の医療チームからも薬剤師の派遣について多くの要請があり、今回の災害ほど薬剤師の活動が注目された事はなかったことと感じております。この災害に携わった多くの被災地支援薬剤師の方々に心から感謝を申し上げますとともに、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

今回の災害では、被災地において医療機関をはじめ様々な建造物や交通機関など明治時代から築き上げてきた百年分のインフラが全て消失してしまいました。そして、その再建復興には住民のそれぞれの思いが秘められております。被災から4ヶ月が経過し瓦礫の処理も進んで来ている今、新しいコミュニティ作りが各地で行われておりますが、今まで住んでいた思い出深い場所が良いのか、津波の危険性の無い高台を切り開いて住居とすべきなのか住民の思いは様々です。

医療機関や調剤薬局を復興するにしても、住民の生活する場所を無視した場所に建設する訳にもいかず、さりとて期限が切られている仮設診療所や仮設薬局をいつまでも続ける訳にもいきません。また、沿岸地域は従来から医師不足、薬剤師不足が取り質されていた場所であり、この度の災害でさらにそのマンパワー不足が問題となってきております。

岩手県薬剤師会としても何とかこの被災地の復興を助けようと、岩手県に対し薬局復興における補助金の交付や無利子貸付の要望を行うと共に、日本薬剤師会に対しまして、被災地での就業を希望する薬剤師を日薬紙や日薬HPで全国から募っていただくようお願いをしております。また現在全国の薬剤師会から集められた義援金を被災した薬局や会員の復興に役立てていただくよう配布しているところであります。

今回の災害を経験し、人のために何かをしようとする被災地支援薬剤師の方々の気持ちに触れ、今までになく心が洗われる気持ちになりました。各地からいただきましたたくさんの心遣いに感謝を申し上げるとともに、このことを将来に語り伝え、そして他の地域で同様の災害が起こった場合には、真っ先に駆けつけ、我々の体験をお伝えすることにより現地の災害対策に寄与することが恩返しだと考えております。

被災した会員の皆様方に心からお見舞いを申し上げますとともに、全国の薬剤師が応援している事をお伝えし、気持ちを強く持ってこれからの復興に頑張ってくださいたいと願っております。

「がんばろう！岩手」

★★★ もくじ ★★★

巻頭言	検査センターのページ……………24
—東日本大震災に想う—	葉連だより……………26
岩手県薬剤師会会長 畑澤博巳… 1	東日本大震災……………27
岩手医科大学薬学部における長期実務	質問に答えて……………30
実習への取り組み	知っておきたい医薬用語 (48) ……33
岩手医科大学薬学部臨床薬剤学講座 高橋勝雄… 3	気になるサプリメント35……………34
平成23年度年間行事予定表…………… 8	リレーエッセイ……………35
第63期薬剤師会通常総会…………… 9	話題のひろば……………36
会務報告……………13	職場紹介……………38
理事会報告……………14	会員の動き……………39
委員会の動き……………17	保険薬局の動き……………46
保険薬局部会から……………18	求人情報……………47
支部の動き……………22	図書紹介……………48
学校薬剤師部会から……………22	編集後記……………50

東日本大震災で被災された会員への義援金募集について

当会では、東日本大震災により前代未聞の被害を蒙った沿岸地域への支援として、3月18日から5月31日までの期間に被災地域住民の方々に対する義援金を募集いたしましたところ、全県から合計6,593,709円を頂戴し、先日、岩手県に送金いたしました。ご協力に深く感謝申し上げます。

ところで、地震・津波発生から4ヶ月が経過し、被災直後の混乱が徐々に収束してきたことにより、当会会員の被災状況についてもその詳細が明らかになってきました。

当県においては120人を越える会員が、勤務先あるいは住居の全壊・半壊の被害を受けていることから、この度、あらためて「被災された会員」にお見舞金を支給するための「義援金」を募集することといたしました。

各位におかれましては、今回の義援金の趣旨をご理解いただき宜しくご協力をお願い致します。

岩手県薬剤師会

【会員の被災状況 (概要)】 (平成23年7月29日現在)

- 会 員 : 死者4名、行方不明者2名
- 会員の住居 : 全壊75、大規模半壊13、半壊11、一部損壊12
- 薬 局 等 : 全壊48施設、半壊8施設

「被災された会員への義援金」募 集 要 領	
義援金の募集期間	平成23年8月31日(水)まで(第一次締切)
義援金の額	1口 3,000円 (何口でも構いません) (恐れ入れますが、振込手数料をご負担願います)
募金送金先 (1) 郵便局利用	[振込用紙の通信欄に「被災会員への義援金」と記載してください。] 郵便預金口座：02260-3-45401 口座名義： <small>いわてけんやくざいしかい</small> 岩手県薬剤師会 <small>ぎえんきんぐち</small> 義援金口 ※同封の振込用紙をお使い下さい。
(2) 銀行振込	銀行口座 岩手銀行 中ノ橋支店 普通預金 2006655 口座名義： <small>いわてけんやくざいしかい</small> 岩手県薬剤師会 <small>ぎえんきんぐち</small> 義援金口
(3) 現金	直接、県薬事務局にお持ちいただいても結構です。
問い合わせ先	岩手県薬剤師会事務局 (〒020-0876 盛岡市馬場町3-12) 電話 019-622-2467 FAX 019-653-2273 E-メールアドレス ipalhead@rose.ocn.ne.jp

岩手医科大学薬学部における 長期実務実習への取り組み

岩手医科大学薬学部臨床薬剤学講座 高橋 勝雄

1. はじめに

6年制薬学教育の中で注目されている長期実務実習は大きな問題もなく1年が経過した。実務実習の目標は、実務実習モデル・コアカリキュラムに提示されているように、病院実習においては、病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得し、また、薬局実習においては、薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得することとなっている。岩手医科大学薬学部においては、本モデル・コアカリキュラムに準拠しつつ、1年前に実施している他大学の例を参考にしながら実施している。

(1) 実習内容

本学薬学部の実務実習は、実務実習事前学習と実務実習（病院・薬局）から成る。すなわち、実務実習事前学習は、4年次前期の調剤学（12コマ）と臨床薬剤学（12コマ）の講義に加えて、4年次後期の薬学実習Ⅲ（臨床医化学および処方解析学、各10コマ）と8月後半から12月中旬まで行う実務基礎実習（100コマ）を行うことになっている。

また、実務実習（病院実習・薬局実習）は、病院実習を2.5ヶ月、薬局実習を2.5ヶ月、合計5ヶ月間行い、それぞれ10単位、合計20単位とする。実務実習の施設は、病院・薬局実務実習東北地区調整機構、岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、岩手医科大学附属病院と打ち合わせて薬局及び病院の対象施設を決定する。実習内容は「実務実習モデル・コアカリキュラム」に準拠して行う。本学の薬学実務実習までの流れと、4年次後期から4年次までのカリキュラムスケジュールは表1のとおりである。

表1. 岩手医科大学薬学部 実務実習関連カリキュラムのスケジュール（4年次—5年次）

4年次			5年次											
4～12月	12月	1月	前期								後期			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	1月	2月	3月	
薬学実習Ⅲ	調剤学、臨床薬剤学、実務基礎実習、 OSCE	CBT	実務実習オリエンテーション	卒業研究 実務実習				卒業研究 実務実習				卒業研究 実務実習		

(2) 健康診断と予防接種等

学生定期健康診断は毎年春に行っており、5年次においても実務実習開始前に同様に実施する。入学時にはツベルクリン反応検査、麻疹、水痘等の必要な予防接種を、4年次には、胸部レントゲン撮影、HBs抗体価検査及びワクチン接種を加え、学生の健康管理に必要な措置を行っている。

(3) 損害賠償責任保険、傷害保険等

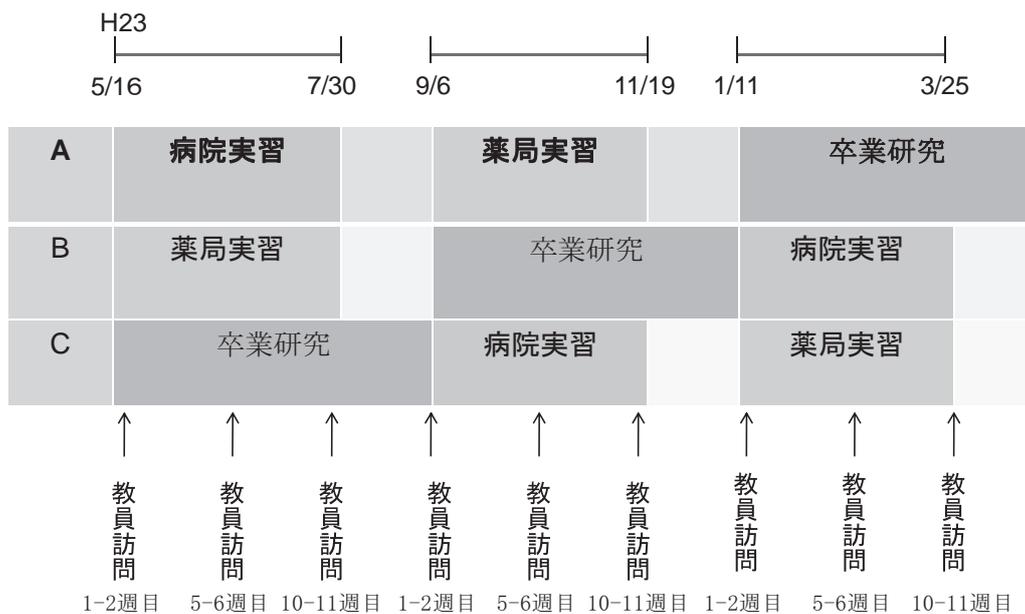
全学生が入学時に学生教育研究災害傷害保険、実習生賠償責任保険、受託物賠償責任保険に加入している。

2. 実習指導体制と方法

(1) 巡回指導計画 (図1)

実習を受ける個々の学生に対しては担当教員を決め、指導、相談などに積極的に関与する。巡回指導は通常、実習期間中に初期、中旬、終期の3回実施する。具体的には、実務実習施設に全講座の教員が分担して訪問し、実習内容などの具体的な課題等を話し合うとともに、実習開始からおよそ5-6週目、10-11週目頃に、実習の進捗状況や学生の実習態度の把握を含めて指導薬剤師並びに学生と情報交換し、それを踏まえての必要な指導を行う。また、学生にはレポートと実習項目の到達度の自己評価をさせ、指導薬剤師に提出させる。

図1. 実務実習時期と教員訪問時期



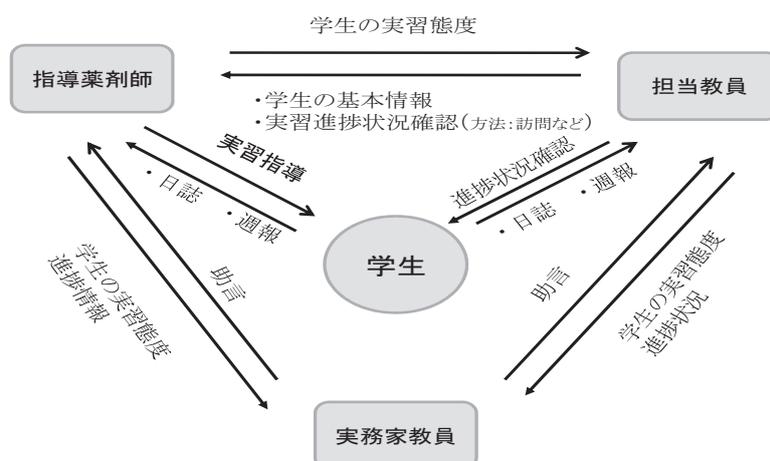
(2) 各実習段階における学生へのフィードバック、アドバイスの方法等

実務実習中における学生へのアドバイス等については、図2に示すように、学生、担当教員、指導薬剤師の連携を密に行い、円滑に実習が継続できる体制を構築する。

- ① 各実習段階における学生へのフィードバック、アドバイスは、学生からのレポートや自己評価資料、指導薬剤師との情報交換などを受けて、その内容に応じて施設先の指導薬剤師と教員が協力して行う。
- ② 担当教員を通じて、学生と教員との緊密なコミュニケーションを図る。

図2. 実務実習における連携体制(岩手医大)

— 学生、指導薬剤師、教員間の連携 —



3. 大学と施設の連携体制

【実務実習推進組織の設置】

(1) 実務実習部会の設置

大学として実務実習に関する考え方や取り組み全般について協議するため、岩手医科大学薬学部内に薬学部の教員18名で構成する「岩手医科大学薬学部教務委員会・実務実習部会」を設置している。実務実習部会は、薬学部の教務委員会（カリキュラム全般を取り扱う）と緊密に情報交換を行い、薬学部全体のカリキュラムと実務実習との調整を図るなど、以下の業務を行う。

- ・薬学実務実習カリキュラム編成・実行に関する事項
- ・薬学実務実習評価に関する事項
- ・薬学実務実習受け入れ施設との連絡・調整に関する事項
- ・教員の巡回指導計画に関する事項
- ・調整機構との連絡調整に関する事項
- ・実務実習に係る教員・実習先指導薬剤師研修に関する事項
- ・実務教育水準確保の施策策定に関する事項

(2) 大学・実習施設連携組織

岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、岩手医科大学薬学部より選ばれた委員で構成された「岩手医科大学薬学部実務実習連絡会議」の設置を計画している。本会議では、岩手医科大学薬学部が進める実務実習に関する考え方や取り組み方策をはじめ、受け入れ態勢の確立などについて検討を行い、円滑な実習推進と充実を図る。

【連携方法】

(1) 組織的な連携活動

「岩手医科大学薬学部実務実習連絡会議」を連携活動の中核組織として位置づけている。本会議では、大学側及び実習施設双方から積極的な意見・要望等の提言をいただき、協議を積み重ねて、円滑に実務実習が行われるよう大学側と実習施設における実務実習の考え方、取組内容全般さらには必要に応じての問題解決策などの合意を図る。大学内組織の「岩手医科大学薬学部教務委員会・実務実習部会」では、岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会と協力を得て、実務実習指導薬剤師を含む薬局薬剤師及び病院薬剤師を対象に、岩手医科大学薬学部としての実務実習に関する具体的取組方法などを説明する場を設けるほか、情報周知を徹底する。

(2) 岩手医科大学附属病院との連携

岩手医科大学附属病院には薬剤師が61名在籍し、その約半数は認定指導薬剤師である。その内、薬学部の兼務教員が4名おり、薬学部教員研修会等で機会ある毎に、実習に関する岩手医科大学薬学部の考え方の説明と実務実習カリキュラムに関する意見交換を行っている。特にカリキュラムにある実習方略（LS）と実際に行っている実務との関係を明らかにし、実務実習教育に対する意識の向上を図っている。また、実務実習の中で多くのコマ数を占めている病棟業務については、各診療科との連携が必要なことから、病院臨床部長会、看護師長会等での協力要請と打ち合わせを十分行い、各病棟業務の流れも視野に入れて検討している。その他、病院、薬学部双方が開催する研修会にお互いの職員が参加を促進するなど連携の推進を行っている。

(3) 実習施設への情報提供

第9回薬学教育改革大学人会議アドバンスワークショップでは、大学での事前学習をはじめ実務実習に関する内容等の実習施設への情報提供と共有が重要であることを確認した。本学薬学部では、岩手県薬剤師会や岩手県病院薬剤師会の研修会等で、機会あるごとに本学の実務実習に関する内容や方法について紹介し、また、岩手県薬剤師会等の会誌への寄稿も行っている。

4. 指導薬剤師および本学教員の研修体制

- (1) 指導薬剤師の養成が急務となっていることから、本学薬学部は岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会の定期的で開催されている研修会等に積極的に参加し、実務実習に関する全般的情報や本学の実習の取組状況等の紹介を行っている。また、本学薬学部独自に「薬・薬・薬の集い」の研修会を立ち上げ、本学教員と岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会の薬剤師との交流の場を設けるとともに、合同で研修を行っている。今後も、この「集い」に多くの受入施設薬剤師の参加を求め、今後の実務実習に備える方向である。さらに、「認定実務実習指導薬剤師」の養成ワークショップについても、薬学教育協議会と本学が共催して（会場は本学薬学部）指導薬剤師の増加に繋がるよう予定している。
- (2) 本学薬学部教員については、薬学部内のセミナーや教員総会等で、実務実習までのロードマップを徹底させるとともに実習内容や方法等に加えOSCE等についての研修を行っている。また、日本薬剤師研修センターの主催する「認定実務実習指導薬剤師」養成ワークショップへ積極的に参加させてきており、今後においてもワークショップ等での受講を一層進める。

5. 大学と実習施設との緊急連絡体制

長期実務実習に備え、本学薬学部では「実務実習問題発生時の対応マニュアル」を作成し、以下の内容を含む対応等について実習施設と協議することとしている。

(1) 学生に傷害等の事故が発生した場合

- 1) 実習施設で傷害等の事故が発生した場合、実習施設は当該学生を病院に搬送するとともに、本学薬学部の事務局薬学部教務係（連絡責任者 事務課長）に連絡する。
- 2) 薬学部教務係は、直ちに保護者をはじめ、理事長、学長、学部長、担任及び実務実習担当教員に連絡する。
- 3) 実務実習担当教員は、対応の責任者である学部長の指示を受けて実習施設と連絡をとるとともに、病院へ直行する。

(2) 学生が実習施設の施設・設備に損傷を与えた場合

- 1) 事故が発生した場合、実習施設は事務局薬学部教務係に通報する。
- 2) 薬学部教務係は、理事長、学長、学部長、担任及び実務実習担当者に連絡する。
- 3) 薬学部教務係職員と実務実習担当教員は、対応の責任者である理事長、学長の指示を受けて速やかに実習施設におもむき、対応方法を協議する。

(3) 緊急時に備えた日常的な態勢

- 1) 緊急時の連絡に備えて、実習時には学部長および実務実習担当教員は、所在を明確にしておく。
- 2) 実務実習担当教員のうちの少なくとも1人は、実習時には本学薬学部にて待機している。
- 3) 緊急時連絡体制に関する図を、実習施設、事務室（薬学部教務係）に掲示する。

6. 単位認定等評価方法

(1) 評価の基本的な考え方

- 1) 単位認定評価は、学生が実習内容をどの程度理解しているか、どの程度実習技能を身につけたか、実習をどのように真面目に行ったか、実習中の学生のコミュニケーションや態度はどうであったか等をもとに行う。
- 2) 具体的には、(ア)各施設での評価、(イ)学生から提出されたレポートの評価、(ウ)実習終了後の発表会での評価、(エ)実務実習試験の4項目に基づいて総合的に行う。

(2) 各施設での学生の評価方法

本学薬学部は、薬学教育協議会、病院・薬局実務実習東北地区調整機構にて取り決めた共通の評価表を用いる。これは、日々の到達度をみるもので、以下の3段階となっており、学生の自己評価、指導薬剤師の評価を記入できるようになっている。

◆5 (達成度80%以上：独立して業務ができる)

指導薬剤師との合意が得られれば、連携体制を維持したまま実習を継続する。

◆4 (到達度60%以上80%未満：管理・監督のもとで自ら業務を遂行できる)

十分な合格域に達するための方略を指導薬剤師と相談し、連携体制を再確認する。

◆3 (達成度60%未満：必要時の指導・補助により業務を遂行できる)

特に、達成できていない内容とその原因を把握するため、担当教員が指導薬剤師と協議し、学習到達度の向上について調整を図る。

さらに、この日々の評価を参考にして、実習態度や実習修得度について5段階で評する一次評価点基準を決めている。これに基づき、各施設の指導責任者には項目ごとに一次評価点をつけたうえで、この評価表を大学に提出するようお願いする。

おわりに

以上、岩手医科大学薬学部の長期実務実習に対する取り組みについて概略した。本学の実務実習は、平成23年5月に始まったばかりであり、まだまだ問題も山積している。私たち大学教員も学生も初めてのことであり、受け入れ施設の認定指導薬剤師の先生方には多くのご迷惑をおかけしたものと反省している。今後は指導薬剤師の先生方や学生達の意見を十分に踏まえ、有意義かつ、実りある実習を目指していきたいと考えている。受け入れ施設の先生方並びに関係各位には、今後とも一層のご指導とご高配を心よりお願い申し上げます。

<参考資料>

- 1) 「薬学教育6年制における長期実務実習」、いわて薬事情報 23(5), 1-9, 2006 (高橋勝雄)
- 2) 「医療現場からみたOSCEの問題点」、薬剤学68(5)、317-319, 2008 (高橋勝雄)
- 3) 「長期実務実習への準備—大学で行う事前学習では何を学ぶか?」、岩手県薬誌イーハトーブ12号、3-8、2009 (高橋勝雄)
- 4) 文部科学省医療人養成推進等委託事業「薬学教育実務実習事前学習に関する調査・研究報告書」。薬学教育協議会、平成21年3月。
- 5) 文部科学省医療人養成推進等委託事業「薬学教育実務実習事前学習および指導体制の在り方に関する調査・研究報告書」。薬学教育協議会、平成22年3月。



平成23年度 年間行事予定表

月	日	曜	行事・用務等	場 所
8	6	土	第1回岩手医科大学認定実務実習指導薬剤師養成WS（～7日）	岩手医科大学
	10	水	第5回常務会	
	26	金	社保医療協議会岩手部会	
	27	土	第77回日薬通常総会（～28日）	ホテルイースト21東京
	30	火	第5回保険薬局部会役員会	
9	3	土	岩手薬学大会	エスポワールいわて
	10	土	東北薬剤師会連合大会（～11日）	秋田市
	14	水	第5回常務会	
	17	土	第3回役員・支部長合同会議	
	18	日	第5回東北薬科大学主催認定実務実習指導薬剤師養成WS	東北薬科大学
	21	水	日薬連臨時評議員会	会長、宮手
	22	木	社保医療協議会岩手部会	
10	2	日	高度医療機器販売管理者継続研修会	岩手県薬剤師会館
	8	土	第3回都道府県会長協議会	
	9	日	東日本大震災復興祈念シンポジウム	紅陽グランドホテル
	12	水	第7回常務会	
	28	金	社保医療協議会岩手部会	
11	1	火	第7回保険薬局部会役員会	
	3	木	第1回保険薬局研修会	マリオス
	9	水	第8回常務会	
	19	土	第4回役員・支部長合同会議	
	25	金	社保医療協議会岩手部会	
	29	火	第8回保険薬局部会役員会	
12	14	水	第9回常務会	
	22	木	社保医療協議会岩手部会	
1	10	火	第9回保険薬局部会役員会	
	11	水	第10回常務会	
	14	土	第5回役員・支部長合同会議	
			薬学薬事関係者新年懇話会	盛岡グランドホテル
	18	水	第4回都道府県会長協議会、新年賀詞交歓会	
	22	日	第3回東北ブロック会長・日薬代議員合同会議	ホテルルイズ
	27	金	社保医療協議会岩手部会	
2	31	火	第10回保険薬局部会役員会	
	8	水	第11回常務会	
	24	金	社保医療協議会岩手部会	
	25	土	第78回日薬臨時総会（～26日）	
	26	日	第78回日薬臨時総会（25日～）	
3	28	火	第11回保険薬局部会役員会	
	4	日	第38回通常代議員会	
	14	水	第12回常務会	
	20	火	第2回保険薬局研修会	県民会館
	23	金	社保医療協議会岩手部会	
			第12回保険薬局部会役員会	
	24	土	第6回役員・支部長合同会議	

第63期社団法人岩手県薬剤師会通常総会が開催されました

日 時 平成23年6月26日(日) 午後1時 場 所 エスポワールいわて

本年度の通常総会は、6月最後の日曜日に昨年と同様、エスポワールいわてで開催されました。総会へは71名、特別講演への参加者は129名となり、例年にない多数の参加者により大盛会となりました。

司会：村井利昭理事

1. 開会のことば

大谷道男副会長から開会宣言されました。

2. 薬剤師綱領唱和

川口さち子理事の先導により、薬剤師綱領を参加者全員で唱和しました。

3. 物故者黙祷

年月日	支部	氏 名
H22. 7. 9	宮古	湊 逸 郎
H22. 8. 11	盛岡	菅 三 郎
H22. 8. 19	二戸	川 口 恭 子
H22. 9. 19	一関	阿 部 淑 子
H22. 10. 15	花巻	金 共 栄
H22. 12. 9	宮古	高 橋 茂 樹
H22. 12. 18	盛岡	野 中 敦 子
H22. 12. 29	盛岡	佐 藤 彰
H23. 2. 17	一関	岩 井 行 雄
H23. 3. 11	気仙	金 野 亨
H23. 3. 11	宮古	船 越 由香子
H23. 3. 11	宮古	船 越 由 枝
H23. 4. 20	盛岡	中 村 順 吉
H23. 5. 3	北上	牛 崎 薫

4. 会長挨拶

畑澤会長から挨拶がありました。【別掲】

5. 表 彰

司会の村井理事から、今年度は東日本大震災で沿岸地区が多大な被害を受けたことを考慮し、「薬剤師会賞」の推薦依頼をしなかったことが説明され、日薬有功賞の伝達授与のみ行われました。

(平成23年度日本薬剤師会有功賞)

盛岡支部 大 屋 良 子 殿

千 葉 光 孝 殿

花巻支部 山 田 武 雄 殿

北上支部 佐 藤 守 三 殿

奥州支部 高 村 哲 郎 殿

中 目 ヒ ロ 殿

6. 来賓祝辞

来賓として、小田島智弥岩手県保健福祉部長代理の藤原信明健康国保課総括課長と岩手県薬剤師会顧問の村井研一郎先生からご挨拶をいただきました。【別掲】

7. 議 事

来賓退場ののち、畑澤会長が議長席について議事に入りました。

議案第1号 第37回通常代議員会報告

代議員会議長を務められた蠣崎淳議長から報告がされましたが、特に質問、意見はありませんでした。

議案第2号 平成22年度岩手県薬剤師会歳入・歳出決算承認について

西野常務から決算案について提案説明がされました。質問・意見は特に出されず、原案どおりに承認されました。

【決算書は当会ホームページに掲載しています】

議案第3号 定款変更案の承認について

熊谷専務から、通常代議員会で承認された定款案について説明されました。これについても、特段の質問や意見は提出されず、出席者多数により承認されております。

8. 特別講演

14時から岩手医科大学薬学部の高橋勝雄教授から『岩手医科大学薬学部の実務実習について』と題して特別講演が行われました。講演内容については、高橋先生から原稿をいただき、本号「寄稿」として掲載しております。

9. 閉会のことば

齊藤副会長から閉会宣言がされ、盛会裏のうちに通常総会は終了しました。

第63回通常総会 会長挨拶

第63期 社団法人 岩手県薬剤師会通常総会



「会員の皆様にはお休みのところ第63期岩手県薬剤師会通常総会に多数ご参集いただき誠にありがとうございます。また、お忙しい中ご来賓として、平素薬剤師会に対しご指導をいただいております岩手県から、小田島智弥保健福祉部長様、本日は代理として健康国保課総括課長の藤原信明様、そして当会顧問、村井研一郎様にご臨席を賜っております。会員を代表いたしまして心から厚く御礼申し上げます。また、会員の皆様方には日頃から当会の事業にご協力をいただいていることに対し心から感謝を申し上げます。

ご挨拶を申し上げます前にまずは、この度の東日本大震災において被災されました会員の方々にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々へ心からお悔やみを申し上げます。

今回の災害は今までの阪神や新潟の地震と大きく異なり、津波により広範囲な地域が消滅するという前代未聞の出来事であり、従来の災害対策マニュアル通りにはいかない面が多くありました。

そのひとつは被災地における院外処方せんの応需と調剤業務に多くの時間と労力が費やされたことです。しかし、その反面薬剤師業務の重要性を世間から認められた事も事実です。医療ボランティアチームや現地救護所、又は巡回訪問医療ボランティアなどにおきましても薬剤師の入っているチームとないチームでは歴然と業務の効率に違いが出ており、各医療チームから薬剤師の必要性を求める声が多く聞かれました。

さらに、被災地での薬剤師ボランティア活動につきましては、それぞれの支部において地域の災害医療チームや保健所との連絡を図りながら、県外の薬剤師ボランティアのコーディネートをして

いただきました。当県におきまして、これらのボランティア活動が一元化されスムーズに行われた背景には、日ごろから地域薬剤師会が行政機関と良好な関係を築いていたことが大きな原動力となっていると考えます。

また、被災地を訪問した際、被災地の薬剤師の方々が、ご自身や身内の方が被災したにもかかわらず献身的に薬剤師活動をされており、その姿に心を打たれました。先生方には心より感謝申し上げます。

岩手県薬剤師会はこれからも会員の皆様方と一緒にあって被災地の復興に努力していきたいと考えております。被災地の会員の皆様方におかれましては被災に負けずに頑張ってくださいと思います。

今年度の県薬事業につきましては、第一に災害からの復興に力を注ぐことではありますが、そのほか今年度から県内で本格的に行われている、岩手医大薬学部の実務実習生受入れの体制を強化して行かなければなりません。現在岩手医大ワークショップへの協力や認定実務実習指導薬剤師講習会の開催などを計画しているところであります。また、各委員会活動が震災の関係で遅れがちになっておりますので、各委員会の委員長にはなるべく早い時期に当初の計画に沿った活動が行える体制にするようお願いしたところであります。

また、本来であれば今年は日薬東北ブロックの幹事県を岩手県が引き受けるはずでしたが、震災の影響で本県でのブロック会議開催が難しいことから秋田県に代わっていただきました。しがたがしまして東北薬剤師会連合大会も当初盛岡市で開催する予定でしたが今年は秋田市で開催されます。

さらに、今年は、一般社団法人への移行手続きが本格化します。本日新定款が承認されれば、会員規定や会費規定を盛り込んだ法人申請書を作成し、8月以降に臨時代議員会および、臨時総会を開催し承認を得た上で、今年中に県に申請を行いたいと考えているところであります。

本日の総会の主な議題は、一般社団法人移行のための新定款の承認や平成22年度決算案の承認についてですが、どうか慎重なご審議をよろしくお願い申し上げます。また、本日平成22年度日薬有功賞を受賞されます先生方には、これまでのご努力とご貢献に対しあらためて感謝を申し上げますと

ともに心よりお祝いを申し上げます。今後も益々ご健勝で活躍されることを祈念申し上げご挨拶いたします。ありがとうございました。」

来賓祝辞

岩手県保健福祉部長 小田島智弥 殿
代理 健康国保課総括課長 藤原信明 殿



「まずもって、さる3月11日に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波の被害にあわれた会員の皆様にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた先生方のご冥福をお祈り申し上げます。先の地震そして津波については、東北を中心とする広い範囲でこれまでにない大きな被害を蒙りました。当県においても多くの命が失われ、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされているところでもあります。

このような中、貴会におかれましては他県からの薬剤師の支援の受け入れや一般用医薬品の配布さらには被災地域住民の衛生保持など率先して決め細やかな対応をいただいておりますことに感謝申し上げます。

また、未だに多くの方が避難所などで大変不自由な生活を強いられている状況のなかで、調剤をはじめとした様々な活動の中で地域の医療を支えていただいている会員の皆様方に敬意を表する次第であります。

さて、ここに第63期岩手県薬剤師会通常総会を開催されるにあたり、改めてお祝い申し上げます。貴会におかれましては、日頃から県民の保健、地域医療の向上にご貢献されていることに対し心から経緯を表する次第であります。また、青少年薬物乱用防止啓発事業やかかりつけ薬局の充実、み

んなの薬の学校の開催などを通じ、県民への医薬品に関する正しい知識の普及・啓発など地域における保健・医療・福祉の充実にご尽力いただいていることに対して重ねて御礼申し上げます。昨今の急激な高齢化社会の到来や生活習慣病の増加に伴い、県民は、自らの健康を自ら維持・管理し、QOLを高めようとする気運が高まっております。

さらには、医療の高度化や複雑化、経済財政改革に伴うジェネリック医薬品の使用促進等医薬品や医療あるいは薬剤師に対する県民の期待もますます高まってきております。

貴会をとりまく環境におきましても平成21年施行の薬事法一部改正による登録販売者制度、店舗内での対面販売とリスクに応じた情報提供の導入など様々変化しており、皆様のご協力により制度として定着してきたところですが、一方において通信販売やインターネット販売の規制緩和など未だに問題提起され議論されているところでもあります。

こうした一連の制度改正は、医薬品の専門家である薬剤師に対して責任と患者本位の安心・安全や医療提供へ貢献を求めているものであり、皆様方一人一人が業務の重要性を認識し、生涯を通じてご研鑽されることを期待されているものであります。

貴会におかれましては県民の健康と安全を守るため薬剤師の資質の向上を図ることはもとより、薬学生の長期実務実習の受入等次世代を担う医療従事者の指導育成といったあらたな領域においても引き続きご尽力をご期待申し上げます。

終わりに只今永年のご功績により表彰を受けられました皆様方に対して心からお慶びを申し上げますとともに貴会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして祝辞といたします。

平成23年6月26日

岩手県保健福祉部長 小田島 智 弥」



「みなさんこんにちは。

新しい会員の方はご存知ないかもしれませんが、私は平成4年から4期会長を勤めさせていただいた村井でございます。その前に菅三郎先生が昭和49年から会長を勤められまして、その副会長として勤めさせていただきました。みなさんもお存知かと思いますが、専務理事の三田畔吾先生と菅三郎先生の強力なリーダーシップで我々の会館ができたり、あるいは検査センターができたりといった時代でございました。

この度の大変な災害では、我々の会員、関係者の方々がずいぶんたくさん罹災なさいました。亡くなった方もいらっしゃいます。心からお悔やみ申し上げます。また、お見舞いを申し上げたいと思います。それと、会員の有志の方々が被災地に直接赴いて、ボランティアとして活躍なさいましたことについては、本当にこれは敬意を表すものでございます。

この度の震災では、医療制度が色々なダメージを受けたのでありますが、そういう中で我々の関係する災害時の対策というのは非常に大きな課題であろうと思います。これからの高齢社会にあつては、医療システムと災害などによる医療障害への対策というのは、われわれがフロントランナーとして取り組んでいかなければならない大切な課題であろうと思います。

私が薬剤師になったのは昭和28年でありまして、58年前ですね。そのころには、「あなた方が学校で学んだ知識というのは、半減期10年だよ。」と言われたものです。要するに、10年経てば知識の半分は陳腐化してしまうというようなことであります。

しかし、今はその頃に比べてものすごく進歩発展の激しい時代でありますから、半減期はいったいどのくらいになっているのでしょうか。

「すぐ役に立つ知識」というのは「すぐ役に立たなくなる」ものです。薬剤師会活動の一番の根幹は、「学ぶことを学ぶ」ということ、そういう「原理原則を身につけていく」ということではないかと思う次第です。

これからは6年制という新しい制度で学ばれた薬剤師の皆様が、実習などで現場にこられると思います。そういう方々の活躍される新しい時代というのは、こういう「原理原則」が一番大切であろうと思う次第であります。

会員の皆様のますますのご活躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。ありがとうございました。」



特別講演

岩手医科大学薬学部 高橋勝雄 教授



会務報告



月日	曜	行 事 ・ 用 務 等	場 所	参 加 者
4月5日	火	会長―釜石方面の状況視察―ユヤマ提供車に同乗		
4月6日	水	盛岡医療福祉専門学校入学式	マリオス	会長
4月7日	木	23時36分 県内震度6の余震発生―全域停電		
4月13日	水	会長、専務―田老、宮古、山田視察・現地打合せ		
4月15日	金	岩手県と災害時協定の締結―3月11日付		
4月19日	火	会長―大船渡、陸前高田方面の状況視察―ユヤマ提供車		
4月20日	水	支援県薬会長との打合せ会	岩手県薬剤師会館	児玉会長、支援県代表
		第1回常務会	岩手県薬剤師会館	
4月22日	金	社保医療協議会岩手部会		
		第1回保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館	
4月23日	土	第1回役員・支部長合同会議	ホテルルイズ	
4月28日	木	二戸支部総会		
4月29日	金	第32回病院・薬局実務実習東北地区調整機構協議会	東北薬科大学	宮手
5月8日	日	H23年度薬局実務実習指導薬剤師研修会	岩手医大矢巾キャンパス	
5月10日	火	岩手県医療審議会	エスポワールいわて	会長
5月11日	水	第1回都道府県会長協議会	富士・国保連ビル	会長
5月18日	水	日薬主催―災害処方せんの費用弁済に関する打合せ会	富士国保連ビル	熊谷
		第1回岩手県復興にむけた医療分野専門家会議	サンセール盛岡	会長
		第2回常務会	岩手県薬剤師会館	
5月20日	金	宮古支部総会	ホテル沢田屋	会長
5月22日	日	東北ブロック会長・日薬代議員合同会議	秋田県総合保健センター	会長、宮手
5月23日	月	財団法人岩手県長寿社会振興財団評議員会	エスポワールいわて	宮手
5月25日	水	会長 釜石地区視察		
5月26日	木	花巻支部総会	ホテル花城	熊谷
		岩手県学校薬剤師会会計監査	岩手県薬剤師会館	澤田、梅村、高林
5月27日	金	社保医療協議会岩手部会		
5月28日	土	岩手医大FAXコーナー移動（～29日）		
5月31日	火	第2回保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館	
6月2日	木	奥州支部総会	水沢サンパレスホテル	会長
		久慈支部総会	久慈グランドホテル	
6月4日	土	盛岡支部総会・研修会	アイーナ	
6月7日	火	会計監査	岩手県薬剤師会館	
6月8日	水	第3回常務会	岩手県薬剤師会館	
6月10日	金	一関支部総会	ベリーノホテル	会長
		広報委員会	岩手県薬剤師会館	畑澤ほか
6月11日	土	第2回役員・支部長合同会議	岩手県薬剤師会館	
6月14日	火	北上支部総会	さくらホール	会長
6月15日	水	埼玉県薬会長ほか来館―義援金ご持参		
6月16日	木	H23岩手県学校保健会評議員会及び研修会	岩手県医師会館	会長
6月17日	金	横浜市薬剤師会会長ほか来館―義援金ご持参		
6月18日	土	東日本大震災復興祈念シンポジウム第1回打合せ会	宮城県薬剤師会館	藤谷
6月21日	火	岩手県予防医学協会評議員会	岩手県医師会館	会長
6月23日	木	第2回岩手県復興にむけた医療分野専門家会議	エスポワールいわて	会長

月日	曜	行 事 ・ 用 務 等	場 所	参 加 者
6月24日	金	第6回公益法人制度改革に関する全国担当者連絡会議	日薬	宮手、熊谷
		社保医療協議会岩手部会		
6月25日	土	岩手県学校薬剤師会総会・研修会	建設研修センター	
6月26日	日	第63期通常総会	エスポワールいわて	
6月28日	火	第3回保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館	
7月1日	金	釜石支部総会	せいてつ記念病院	会長
7月6日	水	第4回常務会		
7月7日	木	H23年度岩手県生涯スポーツ推進協議会	岩手県営運動公園	藤谷
		非常時災害対策委員会	岩手県薬剤師会館	
7月8日	金	北海道薬剤師会訪問-支援御礼のご挨拶		会長、宮手
7月9日	土	病院薬局実務実習東北地区調整機構合同委員会	岩手医大循環器センター	熊谷
7月11日	月	復興支援委員会	岩手県薬剤師会館	
7月13日	水	第2回都道府県会長協議会	富士国保連ビル	会長
		薬物乱用防止啓発推進委員会	岩手県薬剤師会館	
7月16日	土	第33回入院薬局実務実習東北地区調整機構協議会	コラッセ福島	宮手
7月17日	日	第27回東北地区認定実務実習指導薬剤師要請WS(～18日)	コラッセ福島	
7月20日	水	第3回復興にむけた医療分野専門家会議	サンセール盛岡	会長
7月22日	金	社保医療協議会岩手部会		
		大阪府薬剤師会訪問-支援御礼のご挨拶		会長、宮手
7月23日	土	大阪府薬「東日本大震災災害救援活動報告会」へ参加	府薬会館	中田
7月24日	日	実務実習指導薬剤師養成講習会(病薬と共催)	岩手医大	
7月26日	火	第4回保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館	
7月31日	日	第2回東北ブロック会長日薬代議員合同会議	仙台市	会長、宮手、熊谷
		東北ブロック会議	仙台市	会長、宮手、大谷、熊谷



理事会報告

第1回常務理事会

日時：平成23年4月20日(水) 19:30～21:00
 場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- (1) 東北薬剤師会連合会の幹事県辞退について
- (2) 第63期通常総会の開催地等について
- (3) 平成23年度執行体制について
- (4) 平成23年度岩手県薬剤師会行事予定について
- (5) 東北地方太平洋沖地震被災会員への対応について
 - ①岩手県薬剤師会会費の請求について
 - ②地震被災薬局への義援金について
- (6) 平成22年度補正予算について
- (7) 第44回岩手県薬剤師会賞について

報告事項

- (1) 東北地方太平洋沖地震による被災状況について
- (2) 東北地方太平洋沖地震被災地に対する支援活動の状況について
 - ①ボランティア派遣について
 - ②一般用医薬品の配布について
 - ③支援物資の募集について
 - ④義援金の募集について
- (3) 災害救助法に係る岩手県との協定について

第1回役員・支部長合同会議

日時：平成23年4月23日（土）14：00～16：00

場所：ホテルルイズ

協議事項

- (1) 東北薬剤師会連合会の幹事県辞退について
- (2) 第63期通常総会の開催地等について
- (3) 平成23年度執行体制について
- (4) 平成23年度岩手県薬剤師会行事予定について
- (5) 東北地方太平洋沖地震被災会員への対応について
①岩手県薬剤師会会費の請求について
②地震被災薬局への義援金について
- (6) 平成22年度補正予算について
- (7) 新規指定薬局の入会金について
- (8) 第44回岩手県薬剤師会賞について

報告事項

- (1) 東北地方太平洋沖地震による被災状況について
- (2) 東北地方太平洋沖地震被災地に対する支援活動の状況について
①ボランティア派遣について
②一般用医薬品の配布について
③支援物資の募集について
④義援金の募集について
- (3) 災害救助法に係る岩手県との協定について
- (4) 岩手県等の人事異動について
- (5) 平成22年度決算概要について
- (6) 東北社会保険医療協議会岩手部会について

第2回常務理事会

日時：平成23年5月20日（水）19：00～21：00

場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- (1) 第63期通常総会について
- (2) 県薬職員の夏期賞与について
- (3) 研修会等の後援について

報告事項

- (1) 会務報告
- (2) 第1回都道府県会長協議会について

- (3) 東北地方太平洋沖地震被災地に対する支援活動の状況について
①ボランティア派遣について
②一般用医薬品の配布について
- (4) 第32回病院・薬局実務実習東北地区調整機構協議会について
- (5) 薬学生実務実習受入対策委員会から

第3回常務理事会

日時：平成23年6月8日（水）19：00～21：00

場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- (1) 平成22年度岩手県薬剤師会決算について
- (2) 災害救助法に係る費用弁償について
- (3) 義援金の配布について
- (4) 除名した者の再入会について
- (5) 「放射性物質測定装置NaIシンチレーション検出器」の緊急購入について

報告事項

- (1) 会務報告
- (2) 第1回東北六県会長日薬代議員合同会議について
- (3) 会営事業所の会計監査について
- (4) 東北地方太平洋沖地震被災地に対する支援活動の状況について
①ボランティア派遣について
②一般用医薬品の配布について
- (5) 薬学生実務実習受入対策委員会から

第2回役員・支部長合同会議

日時：平成23年6月19日（土）14：00～16：00
場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| (1) 第63期通常総会について | (3) 第1回東北六県会長日薬代議員合同会議について |
| (2) 平成22年度岩手県薬剤師会決算について | (4) 東日本大震災被災地に対する支援活動の状況について |
| (3) 義援金の配布について | ①被災地域から |
| (4) 新規指定保険薬局の入会金について | ②ボランティア派遣について |

報告事項

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| (1) 会務報告と今後の予定について | (5) 実務実習受入対策委員会から |
| (2) 岩手地方社会保険医療協議会について | (6) 保険薬局部会から |

第4回常務理事会

日時：平成23年7月6日（水）19：00～21：00
場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| (1) 平成23年度各賞表彰候補者の推薦について | (3) 公益法人制度改革に関する全国担当者連絡会議について |
| (2) 義援金について | (4) 東日本大震災に対する支援活動の状況について |
| (3) 平成23年度支部等補助費について | ①釜石薬剤師会の活動について |
| (4) 会計監査における指摘事項について | ②ボランティア派遣について |
| (5) 平成23年度会費減免に係る通知文について | ③一般用医薬品の配布について |

報告事項

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| (1) 会務報告と今後の予定について | (5) 「東日本大震災復興記念式典・シンポジウム」の開催について |
| (2) 岩手県復興にむけた医療分野専門家会議について | (6) 健康いわて21推進委員会から |

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

東日本大震災被害義援金へのご協力ありがとうございました

たくさんのご協力ありがとうございました。
皆様から頂いた義援金は、岩手県災害義援金募集委員会に送金いたしました。
今後ともよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

義援金総額 6,593,709円

募金協力件数 278件

なお、店頭用ポスターを当会ホームページにもPDFで掲載しておりますので、併せてご利用ください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



委員会の動き



薬学生実務実習受入対策委員会から

委員長 熊谷明知

《 岩手医大の長期実務実習がスタート！ 》

本年5月から、岩手医大薬学部の長期実務実習が始まりました。多くの学生が県内の病院・薬局で実習を行っています。

平成23年度 薬局実務実習受入予定
岩手県内 145名

○実習時期別

第Ⅰ期 5/16～7/29 45名

(盛岡36・花巻4・奥州1・一関2・久慈2)

第Ⅱ期 9/5～11/18 53名

(盛岡44・花巻3・北上3・一関1・気仙1・宮古1)

第Ⅲ期 1/10～3/26 47名

(盛岡41・花巻2・北上3・奥州1)

○大学別

岩手医大 142名

東北薬科 1名

奥羽大学 2名

本委員会では、これまで認定実務実習指導薬剤師の養成事業に取り組んできましたが、今後は、均質な実習を行われるよう指導薬剤師のスキルアップおよびフォローアップ、そして受入薬局はもちろん、支部レベルでの体制が整備されるようにサポートしていく必要があると考えています。

そこで、日薬等からの関連情報をタイムリーに提供することはもちろんですが、現場の皆さんのニーズに沿った活動（研修会など）を行っていきたいと考えていますので、是非、県薬（委員会）に皆さんの「声」をお寄せいただくようお願いいたします。

また、実務実習を実り多いものにするためには、大学と現場の連携・協力が欠かせないことから、薬剤師会としても、これまで以上に大学ならびに病院薬剤師会と連携していきたいと思っておりますので、関係各位におかれまして、これまで以上にご理解とご協力をお願いします。

【今年度開催した、実習関連の研修会】

1. 平成23年度薬局実務実習指導薬剤師研修会
平成23年5月8日（日）12時～16時
岩手医科大学 矢巾キャンパス 講義室

講師：高橋 寛先生

(日薬薬学教育に関する特別委員会実習指導体制整備検討会委員長)

安田哲弘先生 (秋田県薬剤師会理事)

内容：

- (1) 薬学生実務実習指導の手引き2009年度版の活用の仕方
- (2) スケジュール作成の意義 (SGD)
- (3) 評価は難しくない (SGD)
- (4) OTC販売時の注意点などを考えてみよう
- (5) まとめ

2. 第63期岩手県薬剤師会通常総会特別講演

平成23年6月26日（日）14時～15時半

エスPOWERいわて

講師：高橋勝雄先生

(岩手医大薬学部臨床薬剤学講座教授)

(本誌「寄稿」をご覧ください)

3. 認定実務実習指導薬剤師養成講習会

(講座アオ・イウ)

平成23年7月24日（日）9時～17時半

岩手医大附属病院循環器医療センター



(5/8研修会のSGDの様子)

☆おしらせ☆

～薬剤師会が実務実習をバックアップします～
会営事業所において、薬局実務実習のカリキュラムに関連した内容の研修会・見学会を実施しています。詳細については本会HPをご覧ください。



保険薬局部会から



部会長 熊谷明知

東北厚生局岩手事務所より、「平成22年度に実施した個別指導における指摘事項」に関して情報提供いただきましたので、全文紹介いたします。内容を理解し、適法・適正な保険調剤業務を行うようお願い申し上げます。

平成22年度個別指導における主な指摘事項について（抜粋）

I 調剤と調剤技術料の請求

(1) 不備な処方せんによる調剤

① 用法及び用量の記載がないもの、または不適切なもの

- ・ ベイスンOD錠、エパデールS900、アルロイドG内用液、ヒアレイン点眼液、トルソプト点眼液、チモプトール点眼液、タブロス点眼液

(2) 処方内容に対する薬学的確認

① 薬事法による承認内容と異なる用法又は用量で処方されているもの

- ・ アダラートCR錠、ニフェジピンCR錠、フォサマック錠、タケプロンOD錠、スターシス錠、アレロック錠、キネダック錠、ジプレキサザイデイス錠、アリセプトD錠、クラビット錠、クラリシッド50mg錠小児用、レンドルミン錠、プロデック錠、クレメジン細粒、プリンペラン錠、アドエア250、ヒアレインミニ点眼液、ニゾラルクリーム、ゼフナートクリーム、ゼボラスパップ

② 薬事法による承認内容と異なる適応症への使用が疑われるもの

- ・ アリミデックス錠、パラミジンカプセル、クラリシッド50mg錠小児用、アドエア250、ヒアレインミニ点眼液
- ・ ジャヌビア錠とインスリン製剤（ランタス注ソロスター）の併用
- ・ グラクティブ錠とインスリン製剤（ランタス注ソロスター）の併用

③ 過量投与されているもの、または疑われるもの

- ・ グルファスト錠、ジクロフェナクナトリウムテープ、モーラスパップ、
- ・ 高齢者に対するロヒプノール錠、サイレース錠
- ・ インスリン製剤（ヒューマログミックス25注ミリオペン）が投与されている患者に対するアクトス錠15mg 3錠

④ 重複投与・不必要と思われる多剤併用が認められるもの

- ・ 同一成分薬（コントミン糖衣錠とウインタミン細粒、ドロキシドパカプセルとドプスカプセル）カルシウム拮抗剤の併用（ヘルベッサ錠とヘルラートL錠、ニフェジピンCR錠とノルバスタク錠、ニバジール錠とカルブロック錠）、
- 同一部位に対する複数の消炎剤（インテバン外用液とスチックゼノールA）、
- 複数の医療機関から処方によるもの（H₂ブローカー：タガメット錠とロキサチカプセル）
（モーラスパップとミルタックスパップ）
（セルベックス細粒）
- PPIとH₂ブローカー（パリエット錠とファモチジンOD錠）、
- マイスリー錠の複数回処方による日数重複

- ⑤ 薬剤の処方内容より禁忌例への使用が疑われるもの
 - ・ 心筋梗塞が疑われる患者に対して投与されている
メデット錠
 - ・ 気管支喘息が疑われる患者に対して投与されている
 β ブロッカー（アテノート錠）
- ⑥ 相互作用に注意が必要なもの
 - ・ ジスロマック錠と酸化マグネシウム錠、クレメジン細粒と併用薬
- ⑦ 投与期間の上限が設けられている医薬品について、その上限を超えて投薬されているもの
 - ・ タケプロンOD錠、ランソプラゾールOD錠、パリエット錠
オメプラール錠、オメプラゾール錠、オメラップ錠
- ⑧ 漫然と長期に渡り処方されている医薬品があるもの
 - ・ ケタスカプセル、サイトテック錠の12週を超える投与
 - ・ オメプラゾール錠、パリエット錠の8週を超える投与
 - ・ メチコバル錠、シナール配合顆粒、ビタノイリンカプセルの月余にわたる投与

(3) 調剤内容

- ① 後発医薬品への変更を認めている処方せんにおいて、患者に対して後発医薬品に関する説明を適切に行っていない（保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第7条の2及び第8条第3項にも定められていることから積極的に取り組むこと）

(4) 調剤済みの処方せんに記載すべき事項の一部が記載されていない

- ① 調剤済みである旨の表示、調剤年月日、保険薬剤師の記名押印又は署名
- ② 処方せんに記載された医薬品を変更して調剤した場合の変更内容及び医師等に疑わしい点を確認した場合の回答の内容

(5) 調剤録の作成に次のような問題が認められる

- ① 調剤日と調剤済み日付の相違
- ② 鉛筆で記載されている
- ③ 請求点数、患者負担金がレセプト・日計表・領収書と相違している
- ④ 処方せんの裏面を使用せず別に作成する場合は、疑義照会内容等必要事項をすべて記載する

(6) 自家製剤加算の算定要件の理解が不十分

- ① 同一剤形及び同一規格の医薬品が薬価基準に収載されているにもかかわらず算定している

(7) 一包化薬の算定要件の理解が不十分

- ① 薬剤師が一包化の必要性を認め、医師の了解を得た後に一包化を行った場合は、その旨及び一包化の理由を調剤録に記載すること

II 薬学管理の内容とその技術料の請求

(1) 薬剤服用歴管理・指導記録の活用

- ① 処方内容の十分なチェックや患者への充実した薬剤服用歴管理・指導を行うため、薬剤服用歴管理指導記録を処方せん受付から調剤・監査・服薬指導・投薬の各時点において利用すること
 - ・ その都度過去の薬歴を参照した上で、必要な指導を実施すること

(2) 薬剤服用歴管理記録の算定要件の理解が不十分

① 患者情報の収集

- ・ 投与されている医薬品の安全性もしくは効果の確認の基礎となる患者の基本的情報の収集が不十分である。薬剤服用歴管理は、当該記録に基づき行われるものであり、また、薬剤服用歴管理指導料は、薬剤の適正使用に係る管理・指導を行う場合に必要不可欠な患者情報の収集と、投与される薬剤等に係る基本的説明・指導を行った場合に算定できることを再度認識すること

② 患者情報の薬剤服用歴管理・指導記録への記録内容

- ・ 担当する保険薬剤師で記載に希薄な例が見られる
- ・ どの薬剤師が聴取し記入したのかが不明である
(複数の薬剤師が指導に当たる場合は、記載の都度署名または記名押印を行うこと)
- ・ 薬学的知識に基づき分析、検討を行う際の材料となる患者情報の記録が不十分である
(服薬状況、患者の服薬中の体調変化及び服薬指導の要点について記載がない、又は不十分な例が認められた)
(どのような副作用に着目して聴取を行ったかなど、薬学的観点から聴取・確認した内容が不十分であり患者への指導に活用できる記録となっていない)
(服薬状況、体調変化等を確認し、新たに収集した患者情報を踏まえた上で行う服薬指導の要点の記載がない例が認められた)
(抗がん剤投与の患者の告知状況を記載し、情報の共有を図ること)
(患者情報は最新のものとなるよう努め、更新年月日も記載すること)
- ・ 同一の処方が続いた場合、薬剤名等処方内容の記載を省略せずに記載すること

③ 患者情報の薬剤服用歴管理・指導記録への記録方法

- ・ 記録の修正については、修正経過がわかるよう二本線を用いて行うこと
- ・ 指導結果の記録は指導後速やかに、もれなく記録すること

④ 服薬指導

- ・ 服薬指導における患者情報の収集が不十分な例が認められる
- ・ 服薬指導の要点の記載が不十分である
- ・ 相互作用、用法等に係る指導が不十分なので具体例をあげて指導すること
(長期投与等により予想される副作用に対する指導)
(多剤投与者の指導)

⑤ 薬剤服用歴管理指導記録の管理

- ・ 最終記入の日から起算して3年間保存されていない
- ・ 電磁的な保存(電子薬歴)において、真正性の基準を満たしていない
(指導実施内容の入力が指導日以後、数日～数週間後経過してから実施されている)
(印刷した場合に必要な事項が記載されていなければ適切とはいえない)
- ・ 記録の保存に当たっては、時系列に参照できるよう編綴・管理すること

⑥ 投薬に係る情報提供文書

- ・ 複数の異なる薬効を有する薬剤について、効能・効果に関して個々の患者の病状に応じた内容になっていない
- ・ 効能、効果の内容が患者にとってわかりにくい内容となっている
- ・ 副作用等の記述について充実させること
- ・ 画一的事例は改めること
- ・ 不必要な情報については削除し、記載しないこと
- ・ 患者がほしい情報を具体的に示すこと

- ⑦ 麻薬管理指導加算
 - ・ 麻薬による疼痛緩和等の効果や副作用の有無について確認が行われていない
 - ・ 指導の要点が、薬剤服用歴管理記録に記載されていない

- ⑧ 特定薬剤管理指導加算
 - ・ 特に安全管理が必要な医薬品について、適切な説明及び指導を行っていない
 - ・ 指導の要点が、薬剤服用歴管理記録に記載されていない

(3) 後発医薬品情報提供料の算定要件の理解が不十分

- ① 同一の患者に対して同一の情報内容で複数回の算定がされている

(4) 薬学管理料の不適切な算定、算定要件の理解が不十分

- ① 薬剤師の自己、自家調剤に係る薬学管理料の算定について、不適切な事例が見受けられる

Ⅲ 事務的事項

(1) 届出事項

- ① 届出事項に変更があったにもかかわらず届出が行われていない
 - ・ 保険薬剤師の異動（常勤・非常勤の変更）
 - ・ 開局時間、開局日、閉局日の変更

(2) 薬剤師数の不足

- ① 処方せんの受付枚数に比べ保険薬剤師数が不足している

(3) 一部負担金

- ① 未収金の管理方法が不十分
- ② 未収金を定期的に督促していない
- ③ 従業員から徴収していない事例が見受けられた
- ④ 10円未満の端数処理の誤りが認められた

(4) 施設基準の理解が不十分なもの

- ① 後発医薬品調剤体制加算の算定要件として、毎月の実績確認が行われていない
- ② 施設基準に適合しないにもかかわらず、辞退届が提出されていない
 - ・ 在宅訪問患者薬剤管理指導料

(5) 薬局の管理等

- ① 管理日誌等必要な帳簿類の内容を改善すること

Ⅳ その他

(1) その他

- ① 開設者は今回の指導結果の内容を踏まえ、同様に開設者となっている他の保険薬局についても状況の把握を行うとともに、必要に応じて業務内容を改善するなど、保険調剤の質的向上及び適正化を図ること
- ② 保険薬剤師をはじめとする保険薬局の職員は、保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則等を遵守するとともに、保険調剤、調剤報酬の請求について研鑽し、適正な保険調剤、調剤報酬の請求に努めること



支部の動き



奥州支部

支部長 及川 康 憲

震災と奥州支部

quick response and open system

よくこのフレーズを聞かされていた時代があった。「速やかに対応しなさい、オープンシステムで」

3月11日の地震の直後から今日まで何ができたのだろうか？

11日（金）地震発生

まず災害対策委員長の八巻先生と無事を確認し今後の対策を検討した。災害対策委員会を15日（火）開催する事に決定した。

12日（土）

支部内の状況把握、通信網の不通で困難を極める。

13日（日）

奥州市の災害対策本部に出向き被害状況を把握。幸い奥州の薬局は大きな被害はなく一般の状況もライフラインを除き大きな被害は報告されていなかった。次に保険薬局部会長を訪問し今後の対策協議。震災後の急患を電源不通のなか休日対応していた。その後医師会事務局に出向いた。直前医師会理事会が開催されていた。処方せん調剤日数の短縮協力の申し入れを行う。（奥州医師会は2度にわたり通達を出してくれた）

その後水沢病院、胆沢病院の薬局長を訪問、電話等で何回も調剤日数の短縮の申し入れを行う。沿岸地域からの急な患者様増のなか、多忙を極める基幹病院の協力は本当に有難かった。

14日（月）

電源復旧（復旧まで長く感じた）

15日（火）

災害対策委員会開催（JR不通、ガソリン不足のなか）。沿岸地域（釜石）に地元建設会社のト

ラックが救援物資を搬送する旨の情報が入り、急遽奥州薬剤師会として、やっと入手した乾麺、歯ブラシ、マスク等の搬送を依頼した、震災後4日を経ていた。

また第2回の救援物資の依頼に対し多くの会員から、また卸様等から多くの善意をいただきました。

その後県薬からの救急薬品のセットを奥州市災害対策本部に提供し、また会員からの善意を副会長および災害対策委員長と沿岸地域に届けました。小さな善意がこれほど大きな力になる事を痛感させられた時でした。

3. 11後の4. 07の余震は大きな被害を奥州市にもたらしました。

市長との会談の中で、3年前の宮城・岩手内陸地震より大きな被害との報告を受け、特に奥州の基幹3橋の損傷不通は大きな損害をもたらしました。薬局もこの余震で1軒が半壊状態になりました。

震災後ほぼ3ヶ月を経過して、6月2日奥州支部の23年度総会が畑澤会長をお迎えし開催されました。会長からは県全体の被害状況また他薬剤師会からの応援状況等つぶさに報告を頂きました。奥州薬剤師会総会は報告と協議事項が承認され、23年のスタートを切りました。

災害地への応援は今後長く続くものと考えております。薬剤師としてはもとより一社会人として、何が出来るかではなく、何をするのか皆で考えて行動していきましょう。

どんな小さな事でも、無駄だと思っても、まず一つ一つやりましょう。

quick response and open systemで



学校薬剤師部会から



平成23年度日本学校薬剤師会総会について

平成23年6月18日（土）に東京のホテル銀座ラフィナートにおいて平成23年度日本学校薬剤師会

岩手県学校薬剤師会会長 宮手 義和 臨時総会が開催されましたので報告します。

最初に日本学校薬剤師会会長の田中俊昭先生か

ら、震災への哀悼の意とお見舞いと「学校環境衛生のみならず、くすりについての教育にも関与すべき時代を迎えております。会としては児童・生徒の全般的な健康保持といった面で、知識、技能向上のため常に教育研修を行っていききたい。また、学校薬剤師全員が参加する会を作っていきたい。」との挨拶が述べられた。次いでご来賓の日本薬剤師会会長の児玉孝先生から激励と日薬と日学薬の連携強化の言葉が述べられた。

本年度は、議事に先立ち岩手県、福島県、茨城県、宮城県の代表から、東日本大震災における各県学校薬剤師会の活動について報告がなされ、岩手県からは津波による被害や沿岸部との連絡に苦労した支援活動について、福島県からは津波被害と共に原発による被害や風評被害で現在も混乱状態にあること、茨城県は学校には津波被害はなく液状化現象による校舎被害が多かったこと、宮城県からは交通網・通信網の破壊により支援が困難を極めたことと東北全体の被害報告などが紹介された。

その後、議事に移り1号議案としての会務・事業報告では会員数（16,674名）、会議・研修会の開催状況、「日学薬だより」の発行状況、講師バンクについて、審議会等への協力体制、学薬関係表彰の受賞者、委員会の活動状況などについて報告がなされました。2号議案の22年度決算報告の説明に対し、収入に対して支出が300万円ほどオーバーした理由が質問され、執行部からは委員会の回数が増加したことや協議会の東京開催があったためなどの回答がなされ了解に至りました。第4号議案では表1に示した本年度の事業計画が提案され、日薬と適度な協調関係を保ち活動するような要望や震災復旧への支援継続の提案が附帯されて承認されました。5号議案の予算案については、「切り詰められる項目は極力切り詰め、無駄のない運用を行い、積立金を取り崩すことのないような使い方をして欲しい」との要望に対し、執行部から努力するとの表明がなされたことから、会員証発行の項目を除外して原案通りに承認されました。6号議案では来年が会長改選期であることから、選挙管理委員の選出を行いました。

報告事項では全国からの学校薬剤師会義援金について報告があり、730万円ほどの義援金が集まったことから、被災した県に環境測定機器の寄贈を行うとのことでした。本県にも空気測定器、残留塩素測定器、照度測定器などそれぞれ20台が寄贈されました。配布については沿岸部支部長さんを

中心に協議させていただきますが、全国からの温かいご支援に感謝申し上げます。

今後日学薬では「認定学校薬剤師制度」を発足させたいとの意向を持っており、研修会や講習会を充実させる予定とのことで、会員各位には機会を見て色々な勉強を積み重ねていただきたいと存じます。県学薬としましても積極的に研修会、講習会を開催しますので、多数の参加を期待します。さらに、講演会・研修会の講師や全国規模学会等での発表者を募集しますので、積極的に手を挙げていただくようお願いします。会員へのお願いと日学薬総会の報告とさせていただきます。

表1 平成23年度事業計画

基本方針

学校薬剤師必置50周年を迎え、すべての学校薬剤師のために、学校環境衛生活動のさらなる充実と健康教育への積極的参加を目的として速やかな情報伝達と研修会開催等を充実させる。また、資質向上を目指し青本及び赤本の普及に努める。さらに東日本大震災による被災地の学校薬剤師活動への支援に尽力するほか、今後も日本薬剤師会との強調を図り、役割を整理する。

事業

1. 東日本大震災の被災地への復興支援に尽力
2. 全国学校薬剤師大会開催と日本学校薬剤師会表彰
3. 全国学校保健調査実施
4. 日薬との合同学校薬剤師研修会開催
5. ブロック会議の開催
6. 「学校と学校薬剤師2011」（赤本）の発行
7. 会員への情報提供
8. 行政機関・関係団体との連携協議

大会予定

- ・ H23. 10. 27 第60回全国学校薬剤師大会会（静岡県）
- ・ H23. 11. 24～25 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（長崎県）

総会予定

- ・ H23. 6. 18 東京 銀座ラフィナート
- ・ H24. 3. 24 東京 銀座ラフィナート

検査センターの現況

岩手県医薬品衛生検査センター 総務課長 坂川 敏 洋
(社団法人岩手県薬剤師会・会営)

冒頭、東日本大震災により被災された皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、東日本大震災が発生した3月11日、当所においては、沿岸部へ検体の受け取りに行った職員、ビルの屋上に設置された高置水槽の点検を含む業務をしていた職員がおり、連絡が取れず心配しておりましたが全員無事で帰社し、安堵いたしました。

しかしながら、電気が2日後に復旧したものの、県内全域でほとんど全ての経済活動が停止に等しい状況になり、また、ガソリンも無くなりどこへも行くことができず、暫く開店休業の状態が続きました。

会のボランティア活動として支援物資の運搬で被災各地を回りその地に降り立ったときに感じる言葉で表すことの出来ない絶望感と何らかの使命感。また、連日の被災状況及び原発事故の報道から、国、社会、人の在り方を自問自答する日々が続きました。

このような状況の中、我々がやるべきことは、検査技術・能力を被災現場の復旧のために役立てることと考え、何をすべきか検討していたところ、保健所や県環境保健研究センターの水質検査機能が停止しているとの情報を得たことから、公益法人が運営する検査機関が行う社会貢献として、水質検査機能を肩代わりできることを県の担当者に申し入れたところ、最初は、保健所から紹介を受けたという個人のご依頼が数件あっただけだったが、仮設住宅建設業者から、水道のない場所に建設する仮設住宅の井戸水検査のご依頼を多数いただくようになりました。担当部門は4月中旬から6月までゴールデンウィークはもとより全ての休日を返上し、現地の採水及び分析を行ってまいりました。当所へ水質検査依頼が来るのが、仮設住宅完了検査の直前であることが多く、我々の検査で入居をお待たせするわけに行かないという

思いと、私たちの仕事が人の役に立つという幸福感と一体になったプロ意識で、突貫工事のごとく分析業務を行ってまいりました。



(採水中にテレビ東京の取材を受けている様子)



(採水に行った仮設住宅)

3月末日には前次長の赤澤弘人さん、前技師の大嶋のり子さんが退職され、大変なご貢献をいただいたにもかかわらず、送別会をすることなく質素にお別れをいたしました(その後5月に送別会をさせていただきました)。

多くの業界団体の総会や研修会が中止もしくは延期される中、当所が加盟する東北北海道給水衛生検査協会の総会及び特別講演会は予定通り6月16日に盛岡市で開催されました。震災復旧でご多

忙のところ、県の生活衛生担当課長の大泉善資様、そして当会の畑澤博巳会長に来賓としてご出席いただきました。誠にありがとうございました。



(来賓挨拶をする畑澤会長)



(懇親会風景)

さて、7月になっても福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の騒ぎは収束いたしません。最初は事故のインパクトに驚き、そして、静岡のお茶にまで及ぶ当初見込みより広範囲な汚染の実態に不安を感じ、メルトダウンなど徐々に明らかになる原発内部で起きた事実と止まらない放射能汚染水の海洋投棄に不信感が増し、そして汚染された稲わらが原因となった放射能汚染された牛肉の流通という事態におよび、事故の大きさから考えられる汚染の範囲とは別の流通という要因による汚染の拡散という新たな心配が生まれました。

検査センターは、放射性物質測定機器（NaI (TI) シンチレーションスペクトロメーター）を導入し、7月19日から検査開始することが決定しております。私たちの検査により多くの安心と安全が確認されることを願い、今後とも、岩手県の環境及び食の安全・安心に関わる業務を積極的に行って参りたいと存じます。

最後になりましたが、7月7日から計4回、32名の実務実習生が見学に来られ、宮手所長から薬剤師会が行う試験検査業務の意義と概要の講義を受けた後、試験室及び試験機器の見学をしていただきました。

若い学生の皆様には、昨今の地球環境保全意識の高まりや原発事故等で、環境測定・化学分析の分野に興味をもたれる方が若干増えるのではないかと考えておりますが、その高い志に応える検査機関であるよう、気持ちを新たに致しました。学生の皆様が立派な薬剤師となって各方面でご活躍されること心からお祈り申し上げます。



(実習風景／宮手所長の講義)

波乱含みの延長国会

6月22日の会期末の衆議院本会議において、8月末日まで会期が延長されることが決定しました。本通常国会は1月24日に召集されましたが、3月11日に発生した東日本大震災による未曾有の被害への対応に関する質疑が中心となりました。東日本大震災は、地震による強い揺れのみならず、想像もつかない大規模な津波、更には原子力発電所の壊滅が重なるという、文字通りの大震災でありました。

私の国会活動は、厚生労働委員会が中心となっていますが、NHKテレビで放映された5月1日の予算委員会など、他の委員会においても質問に立つことができました。5月1日の予算委員会においては、大震災被害の復旧・復興のための第一次補正予算案提出の遅れ、その財源として年金臨時財源を流用するという問題、原発事故への対応の遅れなどについて指摘し、総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣などの見解を問いました。6月までの国会質問の概要を次のようにお伝えしたいと思います。

- 平成23年3月24日（木） 厚生労働委員会
 - ・東日本大震災への対応について
 - ・新型インフルエンザワクチンの回収問題
 - ・小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンの同時接種による死亡例発生問題
 - ・医薬品のインターネット販売問題
 - ・医薬品の審査体制の充実について
- 平成23年4月19日（火） 厚生労働委員会
 - ・東日本大震災への対応について
(被災地における医療提供体制、被災者への支援体制、被災者の雇用対策、原発事故に伴う食品の安全対策など)
- 平成23年5月1日（日） 予算委員会
 - ・第一次補正予算案と三党合意について

- ・第一次補正予算案の財源問題
- ・原発事故への対応について
- 平成23年5月1日（日） 財政金融委員会、厚生労働委員会、国土交通委員会連合審査会
 - ・補正予算財源に流用した年金臨時財源への対応について
 - ・年金財源の安定化について
- 平成23年5月23日（月） 決算委員会
 - ・会計検査院による平成21年度決算検査報告について（指摘されている不当事項）
 - ・原発事故における緊急作業従事者の被ばく限度値の変更問題
 - ・新型インフルエンザワクチンの流通問題

以上が通常国会における6月までの国会質問の概要でした。厚生労働委員会においては、昨年秋の臨時国会から6月末までの間に、介護保険法等の改正法案など10本の法案が可決され、本会議で成立しましたが、特徴的なのは半数に当たる5本が議員立法であったことでした。

国会は、会期延長を巡る与野党合意の破たんや、6月末の内閣人事において自民党の参議院議員を総務省の政務官に起用した問題などにより、6月22日より休止状態となっていました。松本復興相の不適切発言問題による辞任を受けて、7月6日の衆議院及び7日の参議院の予算委員会から審議が再開されています。しかし、九州電力玄海原発の再稼働問題をめぐり国会運営は波乱含みとなっています。



イーハートブでは東日本大震災の被災地からの報告、復興支援活動などについて連載します。

「平成23年度第1回役員・支部長合同会議」から

(社)岩手県薬剤師会理事・編集委員長 高林江美

岩手県薬剤師会では、毎月1日に役員・支部長の間で災害伝言ダイヤルを実施し訓練をしており、3月9日の地震発生時には非常時災害対策委員長の中田先生からメールにて状況確認が行われたばかりでした。

3月11日15時18分、中田先生から**釜石は大被害です とんでもない地震です**の一斉メールを最後に連絡がとれなくなりました。

震災から約1か月経った4月23日の役員・支部長合同会議で報告された沿岸の先生方の生の声を一部抜粋し、ご紹介したいと思います。

久慈支部／新淵支部長

久慈支部の場合、奇跡的に被害が軽く済みましたが、野田村の二軒が半壊です。

村内のクリニックも流出したが、3月28日から仮設診療所が再開しそれに合わせて突貫工事で再開したという状況です。

医薬品の仕分けについては依頼を受けず、とりあえずあるものでなんとかしたということです。

宮古支部／熊谷支部長

宮古支部は15人の方々被災し、10薬局は全壊という状況でした。



3月19日 宮古市内

山田地区では、10軒あるなかで8軒が全壊状態で12日頃から残された薬局において数人の方々に調剤業務に携わりました。19日からは山田南小学校で診療所と薬局を設けてその方々が自分の店もないのに、避難所から通いながら一生懸命されました。

宮古支部／湊谷理事

宮古市内は21薬局のなかで被害があったのが7薬局で、現在5つが復旧しています。

避難所の薬については、避難所に入っているDMATが処方せんを出すと保健所職員がそれを集め当薬局でつくり北海道薬の先生方に服薬指導をしていただくという体制をとっています。

今、北海道薬の先生方にどういう場面で支援をしていただくかが問題となっています。

被災して通信手段もままならないなかで、色々な人たちの考え方もあってひとつの答えを出すのが難しい上、一日一日で状況が変わってしまい非常にコーディネートが難しいというのがあります。

小中学校を再開しなければならない事情から、避難所は最大で70以上から20くらいと全体的に縮小傾向にあります。

今最大の問題点として、OTC薬が届いていますがまったく活用されていない状況です。

田老診療所のミーティングにも毎日参加し情報収集していますが、OTCがかやの外的な状況にあること、避難所によっては保健師が籠に入れて配っていたり、一類についても同様に扱われている状況もあります。今は、薬事法が改正され薬剤師の働きが期待されている状況なのに、この震災でごちゃごちゃになっています。現地は医療用の薬の調剤で手一杯です。一日働くと疲れ果てて体が動かなくなる状況です。

薬剤師が避難所に行っても、「保健師がいるから薬剤師はいらない」とか「OTCなんかだまっ

ておけ」とか言われます。これが現実です。

釜石支部／小笠原副支部長

釜石は悲惨すぎて言葉がないですよ。先生方には、実際にご自分の目で確かめていただいて酷い姿を見ていただいたうえで考えていただきたいです。

震災のあと、怪我人よりも、薬がない、津波で流された、という患者さんが来まして、怪我人は殆どないに等しかったです。医師会などからの支援物資も怪我に対するものが多くて、これをどうしようか、ということになりました。病院、薬局ともに本当に必要なものを考える必要がありました。

釜石支部の薬局は殆ど全滅に近い状態で、ライフライン、通信網などずたずたになり、問屋も被災して薬の供給も大変難しい状態になりました。今回経験して、災害時の連絡網もなにも役に立たず、本当にがっかりしました。

調剤薬局の先生方は避難所の調剤で忙しい、病院のほうでも県立釜石病院が入院患者を入れなくなった関係で各医療機関の入院患者が多くなり、この状況で5月くらいからボランティアがいなくなるようですが、各県には、継続した人的支援をお願いしたい。調剤薬局でも今は仮店舗で何店舗かやっていますが、電気がない状態でやっているとところも何店舗かありますし、かなり厳しい状況でやっています。言葉で言っても分らないと思います。



4月3日 釜石市

気仙支部／支部長代理 金野先生

気仙は30薬局で陸前高田市は9薬局が全滅です。大船渡市は大船渡町、赤崎町がやられたのですが、最終的には3/11の段階で稼動したのが7薬局くらいだったと思います。

津波というものは今まで災害の研修会に出ていたものとは違って、生か死かということで今まで使っていた薬が欲しいという患者さんが多い。ここまで思ってもいなかったのですが、残った医療機関に生き残った人たちが全部押し寄せて、医療機関自体については、高田はなくなったので大船渡に集まってきました。残った薬局でなんとかしなければ、というのが、1週間から10日間の間でした。開いてる薬局全部開けていても仕方がないので、大船渡病院の門前であれば、3薬局のうち気仙中央薬局は閉めて2薬局を手伝いに行っていたという状況です。

当薬局においても従業員は無事だったのですが家族が被災していますから、従業員8人のうち勤務しているのが3～4人でした。この状態では薬局を開けていてもどうしようもないということで、全体のまとめと、開いてる薬局の応援に走っていました。それでも限界があり、大船渡病院の協力で、院内にて薬局から応援に行くという方法もとりましたが、今度は病院が4時間待ちになってしまう、院内にするか、出すかというような試行錯誤を繰り返していました。そのうちにだんだん開業医が出てきて落ち着いてきた状態です。

現在は、開業医がやればそれぞれ仮設薬局ができ、今は20薬局まで復帰しました。といっても仮設も含めて調剤できる場所が20箇所になったということになります。

災害時に地域のために何をしようと考えて今まで研修とか受けてきましたが、本当に調剤することがまず第一に求められている、その段階ではそれで手一杯ですが、2週間くらいしてボランティアが入ってくるようになって、なんとかしなければならない、ということでやっと地域に入っていくようになっていきます。

現在では、大船渡市には青森県薬、岩手県の内陸からの応援をいただいていますし、陸前高田の方には東京都薬、秋田県薬から多数支援していただいております。コーディネートはきついです。自分の薬局もあるし、本部機能もやりながら保険薬局機能が増えてきました。最初の6～7薬局のときは電話が通じなくても走っていけばなんとかなったのですが、これだけ10薬局、20薬局になってきて電話も使えないと携帯の連絡網はとっていますが、情報収集が難しい。

大船渡に関しては、最初から市役所に入り込ん

で医薬品の仕分けを手伝っていましたが、最近になってもっと別な集積所があったりして、薬剤師がその集積所にある医薬品を管理するという件が認められました。

陸前高田は、市自体がやられ市の機能が麻痺していますので、薬品がどこにあるかという情報がありませんでした。何箇所か声をかけて探しているなかで見つかって今は我々の手で管理しているという状況になっています。

我々が調剤に追われている中で、ボランティアに来ている先生方から避難所でOTCが山積みになって期限が切れているというようなお話をいただいて、そこからなんとかしようということで一人一人の患者さんに渡すようになりました。避難所にあってもどうしようもないし、それを誰が渡すのか、たとえば、我々が個人個人の必要としている人に渡すのが良いのではないか、ということで市にもかけあって、高田一中という大きな避難所でやりはじめたものです。

しかし、最初はただ配ってしまったところもあります。各避難所に一箱おいたところで、それは眠っている状態だということに気づき、一人一人に手渡しするべきだということでカウンターを始めました。



4月2日 県立高田病院

県立病院／工藤琢身理事

震災当日は山田病院におりまして、病院の回りは海になりました。果たして生き残れるのか不安でしたが、何とか生き残れました。

今回は入ってくる医薬品が先に外科用のものが入ってきて、その段階ではすでに慢性病の薬が必

要になっていました。

2日後くらいには卸の方である薬を適当に見繕って持ってきてくれたので繋ぐことができました。また南小学校ではアインさんがやってくれていたのですが、アインでまとめて購入して町の方に付け替えるという方法をとったのでなんとかなりました。

地震による被災と津波による被災で、入ってくる医薬品を区別する必要があると感じました。薬は来るのですが、使えないものが入ってくる。それが山のように溜まってきて、作業するスペースもなくなる状態。たまたま山田病院は病院の機能がストップしていたので、倉庫として使用することができました。

応援のチームには薬剤師がついてくるのですが、それが病院薬剤師なので、調剤薬局との連携が難しいところもあって、今後は病薬との連携も考えていかねばならないと感じました。

今は異動で大船渡に来ています。病薬から病院にボランティアが入っていますが、病薬のボランティアは、外に出て行ってもOTCとかは分からないので、そういったところも連携が必要です。逆に避難所では注射がきていても調剤薬局では扱いが分からない。最近では破傷風の薬が入ってきて、冷所保存なのに知らないうちに常温のまま放置しているので、保険薬局と病院の薬剤師の間でもう少し連携を強めておけば良かったと感じています。



3月19日 県立山田病院1階

~~~~~

次回は釜石支部からの報告を掲載します。

# 質問に答えて

## Q. アルツハイマー病患者への薬物療法について教えてください

A. 今年2種類のアルツハイマー型認知症治療薬が上市され、さらにもう1種類の薬剤が承認予定であり（2011年7月現在）、アリセプト®のみであったアルツハイマー病の治療に幅ができました。以下に質問の答えとして、認知症の定義からアルツハイマー病患者における薬物療法について概略したいと思います。

### ○認知症の定義

認知症とは「一度正常に達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続性に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態」をいい、それが意識障害のないときに認められるものです<sup>1)</sup>。

認知症や認知症様症状をきたす疾患・病態にはアルツハイマー病に代表される中枢神経変性疾患以外に血管性認知症、脳腫瘍、頭部外傷、神経感染症、内分泌機能異常症、欠乏性疾患、中毒性疾患、代謝性疾患などが含まれます。また、薬剤性の認知機能低下についても考慮する必要があります（表1）。

表1 認知症状を引き起こす薬物<sup>2)</sup>

| 向精神薬                     | 抗精神病薬以外の薬物                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 抗精神病薬<br>催眠薬・鎮静薬<br>抗うつ薬 | 抗パーキンソン病薬<br>抗てんかん薬<br>循環器病薬（降圧薬、抗不整脈薬、利尿薬、ジギタリス）<br>鎮痛薬（オピオイド、NSAIDs）<br>副腎皮質ステロイド<br>抗菌薬、抗ウイルス薬<br>抗腫瘍薬<br>泌尿器病薬（過活動膀胱治療薬）<br>消化器病薬（H <sub>2</sub> 受容体拮抗薬、抗コリン薬）<br>抗喘息薬<br>抗アレルギー薬（抗ヒスタミン薬） |

認知症の症状は、中核症状（認知機能障害など）とBPSD (behavioral and psychological symptoms of dementia：認知症の行動・心理症状) とに大きく分けられます。BPSDには感情や意欲の障害、妄想、幻覚、徘徊、興奮等の精神症状、行動障害が含まれ、多くの場合に認知機能障害を伴います。

### ○アルツハイマー病 (AD) の病態

AD患者の中核症状の特徴として日々のエピソード記憶障害（近時記憶障害）があります。例えば、約束を忘れる、物の置き場所がわからない、同じ

ことを初めて話すかのように繰り返し話す等です。覚えた事柄も一旦忘れてしまうと再び思い出すことができず、再認も困難となります。このような記憶の障害が潜在性に発症しゆっくりと進行していきますが、昔の記憶（学歴、職歴など）は比較的保たれます。さらに、視空間障害（複雑な図形模写ができない、近所でも迷う）、言語障害（「あれ」「それ」などの指示語が目立つ、物の名前がわからなくなる）が加わってきます。計算障害、書字障害も加わり全般的な知的機能が障害され、さらに進行すると周囲に対する認知ができなくなり、会話もまったく通じなくなり、無言となります。

AD患者のBPSDの特徴は、比較的病初期から自発性低下、無関心などが認められることであり、複雑な仕事の遂行や家事等の日常動作に支障をきたします。妄想、幻覚は発症後3-4年が出現のピークとなります。中等症以上で徘徊、興奮、易刺激性、多動や落ち着きのなさがみられます。

### ○中核症状への薬物治療

ADではβアミロイドの沈着による老人斑と、タウ蛋白のリン酸化による神経原線維変化により、神経細胞の壊死が引き起こされます。アセチルコリン作動性神経の機能も低下するため記憶障害などが引き起こされると考えられており、コリンエステラーゼ阻害薬（ChEI）が治療に用いられます。また、ADの病態にグルタミン酸による神経障害が関与していることが考えられており、NMDA受容体（グルタミン受容体サブタイプ）に対する非競合アンタゴニストであるメマンチンが神経細胞障害に対する保護作用を期待して投与されます。中核症状に用いられる薬剤を32ページにまとめました。ChEI及びメマンチンは症状の進行を抑制するものであり、病態そのものを抑制する成績は得られていません。

いずれの薬物も低用量から投与開始し、徐々に用量を上げていきます。効果の程度は個人差がありますが、情緒が安定し、周囲に気が付き、活動性が上昇し、副作用が見られない最大の用量が至適用量とされます。副作用は消化器症状やめまい・眠気が多く、通常1-2週間で消失しますが、強い食欲不振、吐き気、嘔吐などが見られれば減量します。意識レベルや意欲を上げる効果があること、副作用の吐き気などを考えると、経口剤の用法は朝食後が推奨されます<sup>3)</sup>。

・ドネペジル（アリセプト®）

ChEIの中で唯一高度AD患者にも適応があります。剤形も、錠・OD錠・散・ゼリーと豊富です。米国では高度AD患者に1日1回23mg投与の適応があり、最近海外で中等度から高度の患者ADへの23mgの投与が10mgの投与と比較し言語障害に有用であったとの報告がありますが<sup>4)</sup>、日本ではまだ臨床試験中です。ピペリジン骨格を有する薬剤での過敏症の既往がある患者には禁忌となっており、ジピリダモール、エバスチンなど国内では300種類以上の薬剤が該当するので既往歴に注意が必要です。CYP3A4、2D6で代謝されるため、イトラコナゾール、デキサメタゾンとは併用注意となっています。

・ガラントミン（レミニール®）

ChEI従来の作用に加え、ニコチン性アセチルコリン受容体のアセチルコリン結合部位とは異なる部位に結合し、受容体の機能を活性化作用も有します。アリセプトと同様にCYP2D6、3A4で代謝されます。また、腎機能が低下すると半減期が延長するため、腎障害のある患者には慎重投与となっています。内用液が販売されていますが、分包品はリスパダール®と似ているので、調剤や保管方法には十分注意する必要があります。

・リバスチグミン（イクセロン®、リバスタッチ®）  
（2011年7月8日現在 薬価未収載）

海外で経口剤が販売されていましたが、ChEI共通の副作用である消化器症状が発現していました。この副作用が最高血中濃度に起因していることから、吸収を緩やかにするため貼付剤が開発されました。貼付剤のため嚥下困難の患者にも使用できます。CYPを介さないため薬物動態の相互作用が少なく、また、未変化体が腎排泄されないため、腎機能が低下しても減量の必要はありません。臨床試験において半数近くの患者に何らかの皮膚障害を生じているので<sup>5)</sup>、貼付部位を毎回変えるなどの指導が重要になります。また、貼り替えの際に貼付している薬剤を除去せずに新しい薬剤を貼付したため重篤な副作用が発現した例があるため、使用済み薬剤の除去を十分確認するよう患者及び介護者に指導する必要があります。

・メマンチン（メマリー®）

NMDA受容体に作用する薬剤であり、中等度以上の症状でドネペジルと併用すると効果が上がるという報告があります<sup>6)</sup>。軽度でのChEIとの併用はプラセボと効果の差がありませんでした<sup>7)</sup>。中等度以上のAD患者に薬剤を初めて投与する場合に、併用から始めるのがよいのか、単剤から始める場合にはどちらから始めるのがよいのか比較したデータはありません。普通錠のみの販売ですが、粉碎後の安定性のデータはありません。アマタジン、デキストロメトルファンがNMDA受

容体に作用するため併用注意となっています。また、腎排泄の薬物であり、一部が有機カチオントランスポーターで排泄されるため、腎機能低下患者への投与やシメチジンなどの併用には注意します。

○BPSDへの薬物治療

不安以外のBPSDに適応を持つ薬剤はありませんが、ガイドラインで推奨されている薬物を表2にまとめました。エビデンスレベルは低いですが、中核症状に使用する薬剤の一部がBPSDにも効果を示すとする報告があります。抗精神病薬を用いると、過鎮静、低血圧、脱力による転倒、便秘や口渇、悪性症候群が生じる可能性があります。AD治療薬と抗精神病薬との併用による死亡率の上昇、リスベリドンによる錐体外路系の有害事象、オランザピンによる体重増加、血糖値上昇との関連等が指摘されています。

表2 BPSDに用いられる薬物（文献2から抜粋）

| 症状       | 推奨グレードB                                | 推奨グレードC1以下                                    |
|----------|----------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 不安       | リスベリドン<br>オランザピン                       | クエチアピン                                        |
| 焦燥性興奮    | リスベリドン<br>オランザピン<br>クエチアピン<br>アリピプラゾール | バルプロ酸<br>カルバマゼピン<br>抑肝散<br>リバスチグミン<br>メマンチン   |
| 幻覚、妄想    | リスベリドン<br>オランザピン<br>アリピプラゾール           | クエチアピン<br>ハロペリドール<br>抑肝散<br>リバスチグミン<br>ガラントミン |
| うつ症状     |                                        | SNRI<br>SSRI<br>ドネペジル                         |
| 暴力、不穏、徘徊 |                                        | リスベリドン                                        |
| 性的脱抑制    |                                        | SSRI<br>非定型抗精神病薬<br>トラゾドン                     |
| 睡眠障害     |                                        | ベンゾジアゼピン系薬物<br>リスベリドン<br>ドネペジル<br>抑肝散         |

グレードBとC1の違いは科学的根拠の有無

○最後に

AD患者には高齢者が多く、腎機能低下状態や併用薬剤が多いことから、副作用発現に十分注意し、また効果を十分に発揮させるためにアドヒアランスを向上させることが特に重要です。

（文責 朝賀純一、細川佳代子、嶋崎淳）

参考文献

- 1) International Statistical Classification of Disease and Related Health Problems. 10th revision WHO
- 2) 認知症疾患治療ガイドライン2010 日本神経学会
- 3) レシピ Vol 9 No.3 2010 南山堂
- 4) Alzheimers Res Ther. 3(3): 22, 2011
- 5) イクセロンパッチ 製品情報概要
- 6) JAMA. 291(3): 317-24. 2004
- 7) Curr Alzheimer Res. 5(1): 83-9. 2008

## <アルツハイマー型認知症治療薬 一覧表>

| 商品名                | アリセプト®                                                                             | レミニール®                                                                             | イクセロン®,<br>リバスタッチ®パッチ                                                        | メマリー®                                                                      |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 一般名                | ドネペジル塩酸塩                                                                           | ガランタミン臭化水素酸塩                                                                       | リバスタチグミン                                                                     | メマンチン塩酸塩                                                                   |
| 適応症                | アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制                                                          |                                                                                    |                                                                              |                                                                            |
|                    | 軽度～高度                                                                              | 軽度及び中等度                                                                            | 軽度及び中等度                                                                      | 中等度及び高度                                                                    |
| 投薬期間               | 設定なし                                                                               | 14日投薬<br>(2012年4月1日まで)                                                             | (2011年4月製造承認、<br>薬価未収載)                                                      | 14日投薬<br>(2012年4月1日まで)                                                     |
| 食事の影響              | 認められない                                                                             | Tmaxにわずかな遅れあり<br>Cmax,AUCに差ない<br><br>副作用軽減のため食後に<br>投与することが望ましい                    | 認められない                                                                       | 認められない                                                                     |
| 肝機能障害のある患者への投与     | 注意の記載なし<br><br>(米国) アルコール性肝硬変患者に錠5mgを単回経口投与したとき健康成人と比較して肝疾患患者のCmaxが1.4倍高く有意差が認められた | 重度の肝障害患者(Child-Pugh分類=C)では投与経験がなく、安全性が確立していないため有益性投与                               | 該当資料なし<br><br>パッチ剤では初回通過効果が回避され、肝代謝の寄与が傾向投与時と比較して相対的に低いことから薬物動態への影響は低いと考えられる | 慎重投与<br><br>(高度の肝機能障害のある患者) ←腎排泄型の薬剤のため肝機能の影響は受けにくい、使用経験が少なく安全性が確立されていないため |
| 腎機能障害のある患者への投与     | 注意の記載なし<br><br>(英国) 腎機能障害患者に錠5mgを単回経口投与したとき、健康成人と有意差は認められなかった                      | クレアチニンクリアランス=9mL/min未満の患者では、投与経験がなく、安全性が確立していないため有益性投与                             | 該当資料なし<br><br>(外国人データ) クレアチニンクリアランスが低下しても定常状態における血漿中濃度に影響は認められなかった           | クレアチニンクリアランス値=30mL/min未満の患者には慎重に投与し、維持量は1日1回10mgとする                        |
| 薬物代謝酵素<br>(CYP分子種) | CYP3A4<br><br>一部CYP2D6                                                             | CYP2D6<br><br>CYP3A4                                                               | 依存しない                                                                        | 依存しない                                                                      |
| 薬理作用               | ACh分解酵素であるAChEを可逆的に阻害し脳内ACh量を増加させる。脳内コリン作動性神経系を賦活                                  | AChEを競合的に阻害し脳内ACh濃度を上昇させる。さらにnAChRに対するAPL作用にて脳内コリン機能を増強させる。神経細胞保護作用あり、神経細胞の機能低下を抑制 | AChEおよびBuChEの阻害作用により、脳内ACh量を増加させ、脳内コリン作動性神経系を賦活                              | NMDA受容体チャネル阻害作用によりNMDA受容体チャネルの過剰な活性化を抑制                                    |

Ach=アセチルコリン

AChE=アセチルコリンエステラーゼ

nAChR=ニコチン性アセチルコリン受容体

APL=アロステリック活性化リガンド

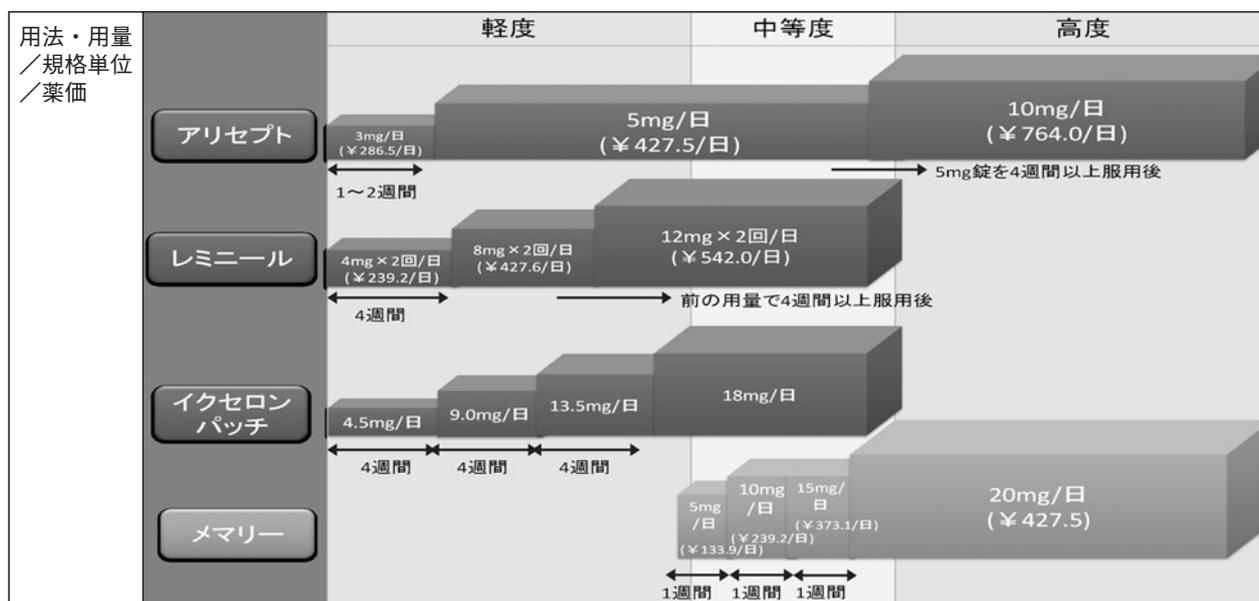
NMDA=N-メチル-D-アスパラギン酸

BuChE=ブチリルコリンエステラーゼ

参考：添付文書、

インタビューフォーム

2011年7月8日現在



## 知っておきたい医薬用語 (48)

### ▶トリアージ

集団災害時などで多数の傷病者を同時に扱う場合に、傷病者を緊急性と重症度で優先順位をつけて最大限の傷病者を救命する作業をいう。通常4段階に分類されカラーコード（トリアージ・タグ）をつけて判別可能にする。作業は、速やかに、正確に施行する。

赤（最優先治療群）：第1順位。直ちに救命処置、治療施行。

黄（準救急治療群）：第2順位。最小限の対応で数時間の時間的余裕のある病態。

緑（軽症者）：第3順位。

黒（すでに死亡、もしくは助かる見込みが極めて低い傷病者）：第4順位。

「選択する」意味のフランス語「トリアージュ」が由来。

### ▶DMAT (Disaster Medical Assistance Team : 災害医療派遣チーム)

医師、看護師、業務調整員（救急救命士、薬剤師、放射線技師、事務員等）で構成され、地域の救急医療体制だけでは対応出来ないほどの大規模災害や事故などの現場に急行する医療チーム。

### ▶JMAT (Japan Medical Assistance Team : 日本医師会災害医療派遣チーム)

日本医師会で組織する災害医療派遣チーム。

### ▶ADL (Activity of Daily Living : 日常生活動作)

ひとりの人間が独立して、生活をするために行う基本的な、しかも各人ともに共通に毎日繰り返される一連の身体動作群をいう（日本リハビリテーション医学会評価基準委員会の規定）。通常は、食事、歩行、入浴、トイレ、更衣、移動、などの動作が含まれる。

### ▶心的外傷後ストレス障害 (PTSD : Posttraumatic Stress Disorder)

生命の危険や身体に脅威を及ぼし、強い恐怖や無力感を感じる心的外傷体験によるストレスの後、不安・抑うつ・不眠などを生じたり、数週間経過してから外傷体験の情景がそのときの感情と身体感覚を伴って再現（フラッシュバック）したりする病態。

### ▶クラッシュ症候群

挫滅症候群（ざめつしょうこうぐん）のこと。身体の一部が長時間挟まれるなどして圧迫され、その解放後に起こる様々な症候をいう。重傷であることが見落とされる場合もあり、致死率は比較的高い。身体の一部、特に四肢が長時間圧迫を受けると、筋肉が損傷を受け、組織の一部が壊死する。その後、圧迫された状態から解放されると、壊死した筋細胞からカリウム、ミオグロビン、乳酸などが血液中に大量に漏出する。発症すると意識の混濁、チアノーゼ、失禁などの症状が見られる他、高カリウム血症により心室細動、心停止が引き起こされたり、ミオグロビンにより腎臓の尿細管が壊死し急性腎不全を起こしたりする。

### ▶熱中症

高温環境下で生ずる急性疾患の総称。①熱痙攣、②熱虚脱、③熱疲労（ねつひはい）、④熱射病に大別される。

①熱痙攣：発汗と水分補給により生じた血中電解質濃度の低下により発症する随意筋の疼痛性強直性痙攣。

②熱虚脱：皮膚血流の急激な増加により還流血流量が減少し、代償的な心機能亢進が十分でない場合に生ずる循環系の失調。

③熱疲労：過度の発汗による血液の濃縮から心負担の増大や血流の分布異常をきたすもの。

④熱射病：体温上昇による体温調節中枢の機能失調をきたすもの。

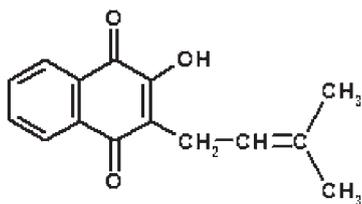
慢性症状としては、⑤熱衰弱（夏やせ）がある。

タヒボ  
Taheebo

**分類** 植物由来

**概要** タヒボは、南米原産の植物パウダルコ (paud'arco)、ノウゼンカズラ科タペブイア属のタペブイア・アベラネダエである。メキシコ北部からアルゼンチンにかけてみられる植物であるが、南米ブラジルのアマゾン川流域に自生する高さ30~50m、直径0.5~1.5mに達する広葉樹である。長さ20cmほどの葉は小葉に分かれている。春に赤紫色の花をつけ、のちに長さ55cmの円筒形の実(さく果)がなる。ブラジルでは、有用植物とされ、タヒボ、イペ、アクアインカ、パタゴニアワルナットなどの別名がある。インディオは、インカ帝国の時代から「神の恵みの木」として崇められ、樹木の外皮と木質部の間の7mmほどの内部樹皮を煮出して飲用してきた。俗に、「免疫機能を高める」「関節炎や痛みを和らげる」と言われている。

**成分・特徴** 主な成分は、抗酵母化合物ラパコール (lapachol)、β-ラパコン、キシロイジンなどである。ラパコールは、樹皮に含まれる黄色の色素で、抗癌作用があるとして研究されている。樹皮、葉は「非医薬品」に区分される。



ラパコール

**一日摂取量** 摂取量の目安は、それぞれの製品の目安量を遵守すること。

**安全性** 適切に摂取すればほぼ安全であると思われるハーブとして、AHPA (米国ハーブ製品協会) の分類はクラス1とされる。  
標準的な経口摂取で危険性が示唆されている報告があるので注意が必要である。  
過剰摂取により激しい吐き気、嘔吐、めまい、下痢、貧血、出血傾向等の副作用を起こすと報告されており、経口で大量に摂取することは危険と思われる。1日1.5g以上のラパコール成分を摂取する場合、出血傾向を含むほとんどの副作用が高まるとされている。摂取する場合には用量について注意が必要である。  
妊娠、授乳中の方は、安全性について十分な情報がないので摂取しない。  
出血性疾患をもつ人も摂取しないこと。

**相互作用** 抗凝血作用のある医薬品 (ワルファリン、アスピリン、クロピドグレル等) を服用している人が摂取すると、出血傾向が高まると考えられるので、併用は避ける。同様に抗凝血作用のあるサプリメントやハーブ類との併用でも出血傾向が高まると考えられるので、注意が必要である。他の食品との相互作用については、十分な情報が得られていない。

**参考資料** 「健康食品」の安全性・有効性情報；2010  
健康食品のすべて—ナチュラルメディシン・データベース—日本語版；田中平三ほか監訳，2006  
機能的食品素材便覧；清水俊雄ら著，薬事日報社，2004  
サプリメント事典；日経ヘルス編、日経BP社、2004

ほか

## 花との付き合い

盛岡支部 盛岡赤十字病院 蒲澤 一行

私は小さい時からスポーツが不得意だったせいか、よく一人で庭遊びをすることが多く、気が向くと花壇の観察や野原に行って植物採集をしていた。

水仙やチューリップが一斉に芽を出すと、心が躍り、なぜか移植ベラやスコップで水仙やチューリップを掘り起こして、芽と根の成長過程を観察した。また、蕾を切り裂いて花の構造を観察したこともある。ユリも花が大きく豪華であり、鬼ユリ、鹿の子ユリ、山ユリ、車ユリなど庭にあるものはよく掘り起こして観察した。ユリは単子葉類で芽が折れ易く、折れてしまうと枯れるしかなく、私の手で数多くのユリが犠牲となった。野菜では、畑のジャガイモを花の時期に全て掘り起こし花と芋の成長過程を観察したときには、母親に叱られた。

私が育った煙山村は、私が生まれて直ぐに3つの村が合併し矢巾町となった。田んぼの周りには灌漑用の多くの堤（沼）があった。夏になると水泳は堤で行った。堤にはカラス貝（ドブ貝）のほか今は絶滅危惧種のタナゴも棲んでいた。農薬が使用される前は矢巾町も自然がいっぱいある農村だった。ツツジが咲く頃、堤の土手に色鮮やかなレンゲツツジを見つけた。早速、採取し庭に植えた。それが今でも季節になると咲いてくれて、50年以上の付き合いになる。

小学校に入る頃、叔父や叔母に連れられて滝沢村篠木の山近くにある小川の土手で日本桜草を採った。あれから50年以上も経っているが今でも春になると庭に咲いてくれる。咲くととてもうれしい。4年位前に、小岩井農場の中にある小川の土手に同じ色の日本桜草が咲いているのを見た。すごく感激し季節になると毎年見に行っている。

ランは好きな植物であるが、小さい頃はランというものがよく分からなかった。林で咲いていた春ラン、庭にあった紫ランがラン類であることを後に知った。高校・大学とランについてはそれなりに知識がついていったが哺乳類と同じく植物の中では最後に地球に現れた種である。盛岡の東黒石野に家を建ててから、近所の人に地エビネを頂き、雑木林には自生のランがあることを知りランに興味を持った。自分が採取した地エビネは雫石の橋場、滝沢のネイチャーセンター付近、北上の極楽寺などから5株である。それ以来見つけても採取しないようにしている。それらは毎年庭に咲いてくれる。地エビネなので派手さはないが一言でいうと「可愛い!」。ブスではあるが花を咲かせると毎年写真を撮ってあげる娘みたいなものだ。

クマガイ草は1回だけ南昌山近くの矢巾町白沢の自生地に採りに行ったことがある。当時、岩手日報にも紹介された場所だったが、私が行ったときは掘り起こされた後ばかりで、私が採った1本が最後だったかもしれない。その後、何回かその自生地に行ったがクマガイ草の姿を見たことがない。その1本が家に来て25年経つが毎年花を咲かせる。元の場所に帰したが、移植してもまた誰かに採られるであろうから止めにしている。

25年位前か、日本薬学会東北支部の若手薬剤師の学術奨励賞を受賞したとき、副賞として現金を頂き、記念にシンビジュームを購入した。それが今も季節になると咲いてくれる。単身赴任などで手入れが出来ず咲かない年もあったが秋口になると家の中に入れてあげる。花は人間の言葉が分かるのだろうか?ランが咲かなくなったとき「来年咲かなかったら抜いて棄てるぞ!」と言うと、次の年に咲いてくれる。これは、出典は明らかでないが誰かが言っていた。庭の花たちが咲かなくなったときも「来年咲かなかったら抜いて棄てるぞ!」と話しかける。そうすると次の年花を咲かせる。咲いたときのうれしさや、可愛いと思う気持ちが伝わるのか、人と植物との間で会話が出来ることが知った。

私は、人との交流が苦手なので、これからも花との会話を大切にしようと思っている。

◇ ◇ ◇  
 次回は盛岡支部の 富山 元子先生 にお願ひしました。



# 話題のひろば

保険薬局 佐竹尚司

3月11日調剤をしている時大きな揺れに襲われました。停電し、町の防災無線では大津波警報が発令されていました。一応非難しよう。そんな軽い気持ちで店を閉め裏山にある中央公民館に上がりました。湾が一望できる場所では避難した多くの方が海を見守っていました。地震から30分経過した頃だと記憶しています、海が町を襲いました。土煙をあげ建物を押し流し眼下まで迫ってきました。追われる車、人の姿が確認できました。「早く、早く逃げろ」と叫んでいました。見慣れた町ががれきと化しました。信じられない光景でした。

あれから4か月たちました。これまで多くの方からご支援いただき、いろいろな経験もさせていただきました。町の将来はまだ見えませんが復興にむけ多くの方が元気にがんばっています。医療機関も仮設で立ち上がりはじめました。自分も残った人間として微力ながら復興の力になりたいと思っています。

負けるな、負けるな！みんな負けるな！

東日本大震災で犠牲になられた方のご冥福ころよりお祈り申し上げます。



保険薬局 匿名

3月11日14時46分、突然の大きな地震にてスタッフ全員でOTCやシロップ瓶等落ちないようにと押さえた。とても長い揺れが何分か続き停電した。電気はすぐに復旧するのだろうと思っていたが、なかなか復帰しない。薬局ではレセコンと分包機が動かない為、会計や通常の一包化も出来ない状態だったので、会計は次回まとめて、一包化は小さなビニールパックに1個1個入れながらの気の遠くなる作業が続いた。電気が通らず、携帯電話も持っていなかった為、卸への発注すら出来ませんでした。さすがに携帯電話くらい持っていないとダメだなと考えさせられた。

いろいろなうらないを見ていると12月には3月よりも死者が多い何かが起きると予測しているネットの書きこみ等見受けられますが、これから何が起きるかわかりません。皆で一致団結して乗り越

えていきましょう。



病院診療所 富山育朗

3月11日、私は勤務先の病院の薬剤部にいるときに地震に遭いました。薬品棚から今にも薬が落ちそうなところを必死で手で押さえ、揺れが収まるのを待っていました。

翌12日から、我々は救護班の一員として何度か被災地に赴きました。赴いた先は県内でも特に被害が大きかった陸前高田市です。現地に初めて着いたときは、想像を絶する被災状況に言葉を失いました。地震前の町並みを良く知っていたならば、さらにショックは大きかったと思います。

避難所内にある救護所で我々は、薬剤や設備、器材が限られている中、患者さんの診療にあたりました。自身が辛い境遇にある中、薬を受け取ったときに「ありがとう」と笑顔で言ってくれた患者さんのことは今でも印象に残っています。

震災から3ヶ月以上経って、被災地の医療体制は徐々に回復してきていますが、まだ復興には程遠い状況です。生まれ育った岩手の復興に向けて、微力ながらできることを精一杯やっていきたいと思っています。



病院診療所 匿名

私は震災後当院の医療支援チームに加わり避難所で活動をしました。被災地での活動も大事なことです。院内での患者さんのケアも大事であると感じています。入院患者さんの中には実家が被災し不安をお持ちの方がいらっしゃいます。また、外来の患者さんの中にも「家を流されて・・・」「家族が行方不明で・・・」など様々な事情を抱えて通院している方も多くいらっしゃいます。このような患者さんにどう言葉をかけたらよいかかわらず、震災後しばらくは、震災のことには触れずに治療薬の説明や副作用の確認の聞き取りだけをしていました。患者さんたちはいつもと変わらないと答える方がほとんどでしたが、不安や心配か

## テーマ：3・11その時あなたは？そして、頑張ろう！岩手

ら不眠や食欲不振があったのかもしれませんが。傾聴が足りなかったのではと気づき、今では患者さんとの雑談からも生活や体調の変化をキャッチするようにしています。今後も当院のスタッフと共に患者やその家族の心と体の健康を支え合いたいと思います。

♪ ♪ ♫ ♪ ♫

復興を目指して

保険薬局 松橋昌平

3月11日の地震発生時、私は遠野市の薬局で働いていました。地震発生直後に実家のある大槌町を目指したのですが、すでに大津波が到達しており道路は寸断。大槌に戻ることが出来たのは翌日の朝でした。変わり果てた故郷の姿に愕然とし、助からない家族や仲間もいるだろうと覚悟したことを今でも覚えています。

数日後からは避難施設の救護所等での活動が始まり、薬を流されてしまった人や体調を崩してしまった人への投薬を行いました。町全体がどんよりとした重い空気に包まれる中、これからどうなるのだろうと不安だったのですが、たくさんの患者様や仲間へ支えてもらったと思います。人と人のつながりを大きく感じました。

どんなに大きな障害でも、人が協力し合えば乗り越えられるはず。家族皆と再会出来た時の安堵感、仲間と再会出来た時の喜びを私は一生忘れません。人間の温かさをこれほど感じたことはありません。今は仕事の都合で大槌を離れていますが、故郷の復興にずっと関わっていきたく思います。

♪ ♪ ♫ ♪ ♫

保険薬局 K. I

初めはドンと縦揺れ、そしてゆっくり大きな横揺れ、そのうち治まるだろう？…あれ？長いな、強くなってきた…慌ててシロップ瓶と散剤の瓶を下に降ろしていた瞬間に停電となり、揺れはさらに大きくなり続けている。局内にいた患者さん数名と皆外へ逃げた。手すりスロープに捉まらない

と立ってられない。駐車場の車は、前後に揺れ、まるで波間を漂っている船の様でした。

電話も携帯電話もつながらない、その後も度々余震が続き、唯一携帯のTVで震度6強の地震、三陸沖では大津波で家々が飲み込まれていく映像が…その大変な事態を知った。絶句！ウソだろう？こんなことがまさか…と。

2週間後、支援物資を積んで現地に行ったら、テレビ映像とはまた、全く違う言葉にならない壮絶な光景があった。それを見たら、何かをしなければとの思いにかられ、支部薬剤師会を通じてボランティアに参加させてもらったが、全国からのボランティア薬剤師の意識と行動には感謝と尊敬の意をはらいたい。

しかし、今後は必要とならば頑張ろう！岩手の薬剤師。

次号の「話題のひろば」のテーマは、  
『震災を経験して…。  
～思ったこと、変わったことなど～』  
です。

ご意見は県薬事務局へ FAXかE-mailで  
FAX： 019-653-2273  
E-mail： ipa1head@rose.ocn.ne.jp  
(アイ・ビー・イー・イチ・イチ・イー・イー・ディー)

### 投稿について

\*ご意見の掲載に当り記銘について下記項目からお選び、原稿と一緒にお知らせください。

- (1) 記銘について
- |         |         |
|---------|---------|
| ①フルネームで | ②イニシャルで |
| ③匿名     | ④ペンネームで |
- (2) 所属について
- |        |        |
|--------|--------|
| ①保険薬局  | ②病院診療所 |
| ③一般販売業 | ④卸売販売業 |
| ⑤MR    | ⑥行政    |
| ⑦教育・研究 | ⑧その他   |

\*誌面の関係で掲載できない場合のあることをご了承ください。



## 職場紹介



### ミルキー薬局（盛岡支部）

ミルキー薬局は、平成17年5月に開局し6年が経ちます。場所は盛岡の西側、国道46号線から少し入った盛岡インターチェンジの近くにあります。近所には、保育園、消防署があり、普段は静かな場所です。

処方箋受付医療機関は、主に近隣の「中村こどもクリニック」で、他に岩手医大、県立中央病院等も応需しており、小児科の処方箋がほとんどです。ですから待合室は、子供達が退屈しないように遊び場を作り、子供用のイスやテーブルを置き、本を読んだりおもちゃで遊んだりできるようにしています。

現在、岩手医大薬学部のI期実務実習2名を受け入れており、身近に患者様を感じ、実感できる実習ができればと日々学生と格闘しております。また、学校薬剤師も担当し、少しでも地域医療に参加できればと思っています。

そして薬学教育・調剤業務さらに薬剤師の役割の変化に対応するため、盛岡市・奥州市・八戸市・郡山市の薬局開設者有志が集まり「イクミグループ」を創り、それぞれの地域情報交換会や研修会をしたり、さらに大学の企業説明会に参加するなど1薬局ではできないことをグループとして行っています。また、水沢医療薬学研究会と連携し後発品の調査に参加したり、実務実習の現場での問題など検討したり幅広く活動しています。

近隣の薬局の方々にはいつも大変お世話になり助けてもらっております。今後も横のつながりを大切にし、地域の薬局、薬剤師となれるようがんばりたいと思います。



〒020-0143 盛岡市上厨川字杉原50-48  
TEL : 019-646-0369 FAX : 019-646-0371

### 仁衛堂薬局（奥州支部）

仁衛堂薬局は奥州市前沢区のJR前沢駅の西口から歩いて3分のところにあります。

当薬局は明暦2年、今から350年程前に衣川区瀬原（旧衣川村）に創業しました。現在の店舗は戦後昭和24年に前沢町に移築移転したものです。

江戸時代から金命丸という胃腸薬の本舗として営業していました。当時は伊達家をはじめ陸奥国一円の常備薬として重宝されたと伝えられています。金命丸の製造は諸般の事情で昭和55年頃に終了しましたが、金命丸の看板は奥州市指定文化財として今も残っています。

薬局としてのスタートは大正の時代からです。当時は調剤が主というよりも一般用医薬品、漢方薬、化粧品、雑貨等の販売をしておりました。皮革製品の加工や、金属加工、土壌の改良、殺鼠、農薬など今ではあまり耳にしない相談も受けていたようです。現在では医薬分業の伸展に伴い、ご近所の患者様が処方箋をお持ちになり受付処方箋発行医療機関は50以上になっています。

さて今回の大震災は、沿岸地区の皆様には到底及びませんが、4月7日の余震のほうの前沢区に甚大な被害をもたらしました。全壊家屋30棟、大規模半壊8棟、半壊61棟、一部損壊408棟（6月14日現在）との事です。街の様子がすっかり変わってしまいました。また移住を余儀なくされている住民の皆さんも多数おられます。当薬局は柱の損壊など一部被害を受けましたが深夜の地震で患者様が不在の時間で幸いでした。今は修復もすみ通常営業しております。この禍を期に安全を心がけ業務を行ってまいります。



〒029-4208 奥州市前沢区字七日町裏2  
TEL : 0197-56-4309 FAX : 0197-56-3180



# 会員の動き



(平成23年3月1日～平成23年6月30日)

## ☆会員登録の変更について

勤務先・自宅住所・雑誌発送先・薬剤師区分等に変更があった場合は、変更報告書（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。電話等で県薬事務局に用紙を請求して下さい。

## ☆退会について

退会を希望される場合は、退会届（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。県薬事務局まで連絡をお願いします。

## (3月 入会)

| 支部 | 業態 | 氏名              | 〒        | 勤務先住所                   | 勤務先TEL       | 勤務先FAX       | 出身校  |
|----|----|-----------------|----------|-------------------------|--------------|--------------|------|
|    |    | 勤務先             |          |                         |              |              | 卒業年  |
| 盛岡 | 7  | 北島 秀明           | 020-0034 | 盛岡市盛岡駅前通15-20ニッセイ盛岡駅前ビル | 019-654-1611 | 019-654-1603 | 昭和薬大 |
|    |    | 持田製薬株式会社支店盛岡事業所 |          |                         |              |              | H 2  |
| 盛岡 | 6  | 芳賀 理圭           | 020-0022 | 盛岡市大通1-11-5             | 019-681-3222 | 019-681-3223 | 東北薬大 |
|    |    | 菜園よつば薬局         |          |                         |              |              | S 62 |
| 奥州 | 4  | 山本 賢治           | 029-4201 | 奥州市前沢区古城字比良59-8         | 0197-56-0505 | 0197-56-0506 | 昭和薬大 |
|    |    | フォレスト薬局前沢店      |          |                         |              |              | H 7  |
| 二戸 | 6  | 大久保 さおり         | 028-6105 | 二戸市堀野字馬場7-6             | 0195-22-2505 | 0195-22-2506 | 昭和大  |
|    |    | 中央調剤薬局          |          |                         |              |              | H10  |

## (4月 入会)

| 支部 | 業態 | 氏名                | 〒        | 勤務先住所                 | 勤務先TEL       | 勤務先FAX       | 出身校  |
|----|----|-------------------|----------|-----------------------|--------------|--------------|------|
|    |    | 勤務先               |          |                       |              |              | 卒業年  |
| 盛岡 | 7  | 内村 俊文             | 020-0066 | 盛岡市上田1-4-1            | 019-653-1151 | 019-653-2528 | 岡山大  |
|    |    | 県立中央病院            |          |                       |              |              | H21  |
| 盛岡 | 7  | 岡田 博之             | 020-0021 | 盛岡市中央通3-1-2盛岡第一生命ビル9F | 019-651-2450 | 019-651-2427 | 東薬大  |
|    |    | エーザイ(株)盛岡マーケティング科 |          |                       |              |              | S 61 |
| 盛岡 | 4  | 工藤 寛史             | 020-0066 | 盛岡市上田1-6-9            | 019-625-5612 | 019-625-5613 | 東北薬大 |
|    |    | 上田薬局              |          |                       |              |              | H 19 |
| 盛岡 | 6  | 佐々木 仁美            | 020-0852 | 盛岡市飯岡新田1-79-7         | 019-656-5867 | 019-656-5868 | 城西大  |
|    |    | 本宮センター薬局          |          |                       |              |              | S 63 |
| 盛岡 | 6  | 佐藤 真純             | 020-0013 | 盛岡市愛宕町2-38            | 019-621-8411 | 019-621-8412 | 明薬大  |
|    |    | あたご薬局             |          |                       |              |              | H 7  |
| 花巻 | 6  | 藤尾 克紀             | 025-0042 | 花巻市円万寺字下中野45-11       | 0198-38-1300 | 0198-28-2822 | 東邦大  |
|    |    | ゆぐち薬局             |          |                       |              |              | H 13 |
| 奥州 | 6  | 伊地智 隆之            | 023-1103 | 奥州市江刺区西大通り10-11       | 0197-31-2151 | 0197-31-2152 | 帝京平成 |
|    |    | アイン薬局江刺店          |          |                       |              |              | H 21 |
| 奥州 | 4  | 伊藤 大輔             | 023-0864 | 奥州市水沢区龍ヶ馬場29-37       | 0197-51-7055 | 0197-51-7056 | 東北薬大 |
|    |    | 龍ヶ馬場薬局            |          |                       |              |              | H 16 |
| 奥州 | 7  | 佐々木 智広            | 023-0864 | 奥州市水沢区字龍ヶ馬場61         | 0197-24-4121 | 0197-24-8194 | 東北薬大 |
|    |    | 県立胆沢病院            |          |                       |              |              | H 20 |

| 支部 | 業<br>態 | 氏 名     |  | 〒        | 勤 務 先 住 所      | 勤務先TEL       | 勤務先FAX       | 出身校  |  |
|----|--------|---------|--|----------|----------------|--------------|--------------|------|--|
|    |        | 勤 務 先   |  |          |                |              |              | 卒業年  |  |
| 奥州 | 7      | 高 橋 珠 美 |  | 023-0864 | 奥州市水沢区字龍ヶ馬場61  | 0197-24-4121 | 0197-24-8194 | 東北薬大 |  |
|    |        | 県立胆沢病院  |  |          |                |              |              | H19  |  |
| 一関 | 6      | 後 藤 良 太 |  | 021-0885 | 一関市田村町6-10     | 0191-21-3010 | 0191-21-3010 | 奥羽大  |  |
|    |        | 加賀調剤薬局  |  |          |                |              |              | H21  |  |
| 一関 | 7      | 佐 藤 大 樹 |  | 029-0192 | 一関市狐禅寺字大平17    | 0191-23-3452 | 0191-23-9691 | 東北薬大 |  |
|    |        | 県立磐井病院  |  |          |                |              |              | H21  |  |
| 二戸 | 7      | 東 山 倫 子 |  | 028-6193 | 二戸市堀野字大川原毛38-2 | 0195-23-2191 | 0195-23-2834 | 北里大  |  |
|    |        | 県立二戸病院  |  |          |                |              |              | H18  |  |

(5月 入会)

| 支部 | 業<br>態 | 氏 名        |  | 〒        | 勤 務 先 住 所        | 勤務先TEL       | 勤務先FAX       | 出身校  |  |
|----|--------|------------|--|----------|------------------|--------------|--------------|------|--|
|    |        | 勤 務 先      |  |          |                  |              |              | 卒業年  |  |
| 盛岡 | 7      | 稲 垣 和 幸    |  | 020-0066 | 盛岡市上田1-4-1       | 019-653-1151 | 019-653-2528 | 東北大  |  |
|    |        | 県立中央病院     |  |          |                  |              |              | H15  |  |
| 盛岡 | 4      | 齋 藤 直 子    |  | 020-0021 | 盛岡市中央通1-14-43    | 019-652-2422 | 019-652-0207 | 帝京大  |  |
|    |        | かるがも薬局     |  |          |                  |              |              | S62  |  |
| 盛岡 | 6      | 根 田 祥 広    |  | 020-0034 | 盛岡市盛岡駅前通14-21    | 019-654-6019 | 019-654-6029 | 東北大  |  |
|    |        | ひまわり薬局     |  |          |                  |              |              | H19  |  |
| 盛岡 | 7      | 真 木 桃 子    |  | 020-0866 | 盛岡市本宮5-15-1      | 019-635-0101 |              | 岐阜薬大 |  |
|    |        | 盛岡市立病院     |  |          |                  |              |              | H21  |  |
| 盛岡 | 6      | 丸 山 由 莉 子  |  | 020-0063 | 盛岡市材木町4-33       | 019-681-3707 | 019-681-3708 | 東北薬大 |  |
|    |        | なのはな薬局     |  |          |                  |              |              | H19  |  |
| 花巻 | 6      | 高 橋 さくら    |  | 025-0091 | 花巻市西大通り2-11-3    | 0198-41-1340 | 0198-41-1341 | 第一薬大 |  |
|    |        | タカハシひかる薬局  |  |          |                  |              |              | H20  |  |
| 北上 | 6      | 浅 野 裕 子    |  | 024-0083 | 北上市柳原町4-15-29    | 0197-65-2202 | 0197-65-3373 | 明薬大  |  |
|    |        | おおぞら薬局     |  |          |                  |              |              | H6   |  |
| 北上 | 4      | 喜多川 大      |  | 029-5614 | 西和賀町沢内字太田2-151   | 0197-81-2160 | 0197-85-3825 | 東北大  |  |
|    |        | スマイル薬局西和賀店 |  |          |                  |              |              | H13  |  |
| 北上 | 4      | 笹 木 かおり    |  | 024-0011 | 北上市堤ヶ丘1-9-8      | 0197-61-0188 | 0197-65-6377 | 東北薬大 |  |
|    |        | あい薬局堤ヶ丘店   |  |          |                  |              |              | H21  |  |
| 奥州 | 6      | 小 原 律 子    |  | 023-0033 | 奥州市水沢区不断町9       | 0197-51-2216 | 0197-51-2217 | 明薬大  |  |
|    |        | みどり薬局不断町店  |  |          |                  |              |              | S47  |  |
| 一関 | 6      | 浅 野 哲 生    |  | 029-0803 | 一関市千厩町千厩字草井沢43-1 | 0191-51-1666 | 0191-51-1660 | 帝京大  |  |
|    |        | 千厩調剤薬局     |  |          |                  |              |              | H21  |  |
| 一関 | 6      | 佐 藤 千 香    |  | 021-0053 | 一関市山目字中野59-1     | 0191-33-1510 | 0191-33-1530 | 第一薬大 |  |
|    |        | れもん薬局      |  |          |                  |              |              | H18  |  |
| 釜石 | 7      | 千 葉 智 彦    |  | 026-8550 | 釜石市甲子町10-483-6   | 0193-25-2011 | 0193-23-9479 | 第一薬大 |  |
|    |        | 県立釜石病院薬剤科  |  |          |                  |              |              | H22  |  |
| 宮古 | 4      | 成 田 主 徳    |  | 028-8407 | 田野畑村田野畑120-3     | 0194-37-1771 | 0194-33-2070 | 城西大  |  |
|    |        | スマイル薬局田野畑店 |  |          |                  |              |              | H19  |  |
| 久慈 | 7      | 佐々木 明 弘    |  | 028-8040 | 久慈市旭町10-1        | 0194-53-6131 | 0194-52-2601 | 東薬大  |  |
|    |        | 県立久慈病院     |  |          |                  |              |              | H22  |  |
| 二戸 | 7      | 道 尻 浩 助    |  | 028-6193 | 二戸市堀野字大川原毛38-2   | 0195-23-2191 | 0195-23-2834 | 第一薬大 |  |
|    |        | 県立二戸病院     |  |          |                  |              |              | H20  |  |

(6月 入会)

| 支部 | 業<br>態 | 氏 名              | 〒        | 勤 務 先 住 所       | 勤務先TEL       | 勤務先FAX       | 出身校   |
|----|--------|------------------|----------|-----------------|--------------|--------------|-------|
|    |        | 勤 務 先            |          |                 |              |              | 卒 業 年 |
| 盛岡 | 4      | 粟津和則             | 028-3303 | 紫波町高水寺字大坊183-1  | 019-672-6568 | 019-672-6568 | 東北薬大  |
|    |        | 調剤薬局ツルハドラッグ紫波店   |          |                 |              |              | H15   |
| 盛岡 | 6      | 坂下真由美            | 020-0885 | 盛岡市紺屋町1-36      | 019-625-3187 | 019-625-5969 | 北里大   |
|    |        | ユニオン薬局           |          |                 |              |              | H6    |
| 盛岡 | 6      | 佐々木容子            | 020-0015 | 盛岡市本町通1-9-28    | 019-652-8200 | 019-652-3322 | 明薬大   |
|    |        | 本町薬局             |          |                 |              |              | H6    |
| 盛岡 | 4      | 高橋美樹             | 020-0838 | 盛岡市津志田中央2-17-33 | 019-637-9100 | 019-637-9200 | 東北薬大  |
|    |        | 調剤薬局ツルハドラッグ津志田店  |          |                 |              |              | H17   |
| 盛岡 | 6      | 松坂久美子            | 024-0004 | 北上市村崎野16-89-5   | 0197-66-3369 | 0197-66-3737 | 昭和薬大  |
|    |        | オレンジ薬局           |          |                 |              |              | S41   |
| 盛岡 | 9      | 森サワ子             |          |                 |              |              | 東北薬大  |
|    |        |                  |          |                 |              |              | S49   |
| 花巻 | 6      | 山屋信行             | 025-0033 | 花巻市諏訪399-1      | 0198-21-3303 | 0198-21-3220 | 東北薬大  |
|    |        | 諏訪調剤薬局           |          |                 |              |              | S57   |
| 北上 | 4      | 伊藤貴文             | 024-0034 | 北上市諏訪町2-5-42    | 0197-61-3023 | 0197-61-3024 | 城西大   |
|    |        | ファースト調剤薬局        |          |                 |              |              | H18   |
| 一関 | 6      | 榎嶋彩乃             | 029-0131 | 一関市狐禅寺字大平33-1   | 0191-31-8750 | 0191-31-8753 | 昭和薬大  |
|    |        | 日本調剤一関薬局         |          |                 |              |              | H16   |
| 一関 | 4      | 染谷光洋             | 029-0131 | 一関市狐禅寺字大平123-2  | 0191-31-8805 | 0191-31-8806 | 北薬大   |
|    |        | 一関ドライブスルー薬局      |          |                 |              |              | H20   |
| 一関 | 4      | 高江悦子             | 029-0131 | 一関市狐禅寺字大平33-1   | 0191-31-8750 | 0191-31-8753 | 東北薬大  |
|    |        | 日本調剤一関薬局         |          |                 |              |              | H4    |
| 一関 | 6      | 土屋紘子             | 029-0131 | 一関市狐禅寺字大平123-2  | 0191-31-8805 | 0191-31-8806 | 東北薬大  |
|    |        | 一関ドライブスルー薬局      |          |                 |              |              | H21   |
| 一関 | 6      | 向井博美             | 029-0131 | 一関市狐禅寺字大平33-1   | 0191-31-8750 | 0191-31-8753 | 神戸学院  |
|    |        | 日本調剤一関薬局         |          |                 |              |              | H15   |
| 一関 | 6      | 村上彩              | 029-0131 | 一関市狐禅寺字大平33-1   | 0191-31-8750 | 0191-31-8753 | 東北薬大  |
|    |        | 日本調剤一関薬局         |          |                 |              |              | H15   |
| 釜石 | 4      | 福田聡範             | 028-1111 | 大槌町新町305-11     | 0193-55-4360 | 0193-55-4361 | 北薬大   |
|    |        | ㈱クオリティ企画ハーブ薬局    |          |                 |              |              | H1    |
| 宮古 | 4      | 佐々木忍             | 027-0074 | 宮古市保久田8-5       | 0193-65-0122 | 0193-65-0122 | 富医薬大  |
|    |        | 調剤薬局ツルハドラッグ宮古中央店 |          |                 |              |              | H8    |
| 宮古 | 6      | 湊谷美法             | 027-0083 | 宮古市大通1-5-3      | 0193-71-2033 | 0193-71-2065 | 北薬大   |
|    |        | みなとや調剤薬局         |          |                 |              |              | H23   |

(6月 賛助入会)

| 支部 | 社(店)名      | 代表者  | 〒        | 住所            | TEL          | FAX          |
|----|------------|------|----------|---------------|--------------|--------------|
| 盛岡 | イオンリテール(株) | 村井正平 | 261-8515 | 千葉市美浜区中瀬1-5-1 | 043-212-6074 | 043-212-6859 |

(3月 変更)

| 支部 | 氏名     | 変更事項    | 変更内容                                                                        |
|----|--------|---------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 盛岡 | 芦名澤 恭子 | 勤務先     | 〒028-7307 八幡平市柏台2-8-2 東八幡平病院<br>電話0195-78-2511 FAX0195-78-3437              |
| 盛岡 | 井崎 未来  | 勤務先名称   | イオン薬局盛岡店                                                                    |
| 盛岡 | 井手 陽子  | 勤務先及び支部 | 〒028-3307 紫波町桜町字三本木22-7 紫波中央薬局<br>電話019-672-6125 FAX019-671-2625 旧支部花巻      |
| 盛岡 | 岡村 幸子  | 勤務先     | 〒028-3101 花巻市石鳥谷町好地16-9-5 のぞみ薬局<br>電話0198-46-2070 FAX0198-46-2071           |
| 盛岡 | 岡村 博文  | 勤務先     | 〒028-3307 紫波町桜町字下川原4-14 紫波調剤薬局<br>電話019-672-1334 FAX019-672-1346            |
| 盛岡 | 小川 敦子  | 勤務先名称   | イオン薬局盛岡店                                                                    |
| 盛岡 | 小山田 志穂 | 勤務先     | 〒028-7112 八幡平市田頭37-103-6 しらゆり薬局<br>電話0195-75-1922 FAX0195-75-1922           |
| 盛岡 | 工藤 愛   | 氏名及び勤務先 | 旧姓 高橋<br>無従事                                                                |
| 盛岡 | 佐々木 澄子 | 勤務先名称   | イオン薬局盛岡店                                                                    |
| 盛岡 | 清野 孝子  | 勤務先     | 〒020-0834 盛岡市永井23-17-8 薬王堂盛岡都南店<br>電話019-638-4949                           |
| 盛岡 | 高橋 弘二  | 勤務先     | 〒020-0852 盛岡市飯岡新田1-79-7 本宮センター薬局<br>電話019-656-5867 FAX019-656-5868          |
| 盛岡 | 千葉 光孝  | 勤務先     | 無従事                                                                         |
| 盛岡 | 畠山 紘一  | 勤務先     | 〒020-0851 盛岡市向中野字向中野28-7 むかいなかの調剤薬局<br>電話019-631-3100 FAX019-631-3344       |
| 盛岡 | 三田 礼子  | 氏名      | 旧姓 金田                                                                       |
| 盛岡 | 村井 玲   | 勤務先     | 無従事                                                                         |
| 盛岡 | 四倉 幹三  | 勤務先     | 無従事                                                                         |
| 花巻 | 柏葉 公敬  | 勤務先名称   | イオン薬局一関店                                                                    |
| 奥州 | 黒田 麻遊美 | 勤務先住所   | 奥州市水沢区横町211                                                                 |
| 奥州 | 本多 わか子 | 勤務先     | 〒023-0403 奥州市胆沢区若柳字甘草324 ふれあい薬局<br>電話0197-41-4110 FAX0197-46-5150           |
| 一関 | 阿部 淳子  | 勤務先     | 無従事                                                                         |
| 一関 | 清水 陽子  | 勤務先     | 無従事                                                                         |
| 一関 | 朴澤 和宏  | 勤務先     | 〒029-0192 一関市狐禅寺字大平17 県立磐井病院<br>電話0191-23-3452 FAX0191-23-9691              |
| 気仙 | 菅野 和規  | 勤務先及び支部 | 〒022-0004 大船渡市猪川町字中井沢10-10 つくし薬局猪川店<br>電話0192-21-3663 FAX0192-27-0066 旧支部一関 |
| 釜石 | 金野 宏美  | 勤務先     | 〒026-0055 釜石市甲子町10-159-2 中田薬局松倉店<br>電話0193-23-1230 FAX0193-23-1232          |

(4月 変更)

| 支部 | 氏名     | 変更事項    | 変更内容                                                                       |
|----|--------|---------|----------------------------------------------------------------------------|
| 盛岡 | 浅田 孝子  | 勤務先住所   | 盛岡市本宮5-15-1                                                                |
| 盛岡 | 五日市 恵里 | 勤務先及び支部 | 〒020-0023 盛岡市内丸11-1 盛岡広域振興局保健福祉環境部<br>電話019-629-6588 FAX019-629-6594 旧支部花巻 |
| 盛岡 | 小笠原 瞳  | 勤務先     | 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 県立中央病院<br>電話019-653-1151 FAX019-653-2528              |
| 盛岡 | 佐々木 匡  | 勤務先     | 〒020-0151 滝沢村大釜字吉水104-1 おおがま薬局<br>電話019-684-1200 FAX019-684-1211           |
| 盛岡 | 佐々木 宣好 | 勤務先住所   | 盛岡市本宮5-15-1                                                                |
| 盛岡 | 佐藤 康子  | 勤務先     | 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 県立中央病院<br>電話019-653-1151 FAX019-653-2528              |
| 盛岡 | 高橋 美樹  | 勤務先及び支部 | 〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大治験管理センター<br>電話019-651-5111 FAX019-623-9915 旧支部二戸   |

| 支部 | 氏名    | 変更事項    | 変更内容                                                                          |
|----|-------|---------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 盛岡 | 多田由里子 | 勤務先     | 〒020-0864 盛岡市西仙北1-32-11 西仙北薬局<br>電話019-634-0001 FAX019-634-0011               |
| 盛岡 | 富山道彦  | 勤務先住所   | 盛岡市本宮5-15-1                                                                   |
| 盛岡 | 内藤健朗  | 勤務先及び支部 | 無従事 旧支部二戸                                                                     |
| 盛岡 | 藤本友士  | 勤務先及び支部 | 〒028-7303 八幡平市柏台2-8-2 東八幡平病院<br>電話0195-78-2511 FAX0195-78-3437 旧支部一関          |
| 盛岡 | 矢部精志  | 勤務先     | 〒020-0015 盛岡市本町通12-7 内丸病院<br>電話019-654-5331 FAX019-651-8542                   |
| 盛岡 | 山本哲男  | 勤務先及び支部 | 無従事 旧支部花巻                                                                     |
| 花巻 | 高橋清夫  | 勤務先及び支部 | 〒021-0031 一関市青葉1-6-4-101 いちご薬局<br>電話0191-21-1539 FAX0191-21-1539 旧支部久慈        |
| 花巻 | 三浦清彦  | 勤務先及び支部 | 〒028-0115 花巻市東和町安俵6区75-1 県立東和病院<br>電話0198-42-2211 FAX0198-42-4417 旧支部盛岡       |
| 北上 | 荒田和男  | 勤務先及び支部 | 〒024-8506 北上市花園町1-6-8 北上済生会病院<br>電話0197-64-7722 FAX0197-64-2666 旧支部宮古         |
| 北上 | 高橋嘉彦  | 勤務先及び支部 | 〒024-0094 北上市本通り2-1-32 ぴーす薬局<br>電話0197-61-2411 FAX0197-64-3222 旧支部宮古          |
| 奥州 | 石井宏治  | 勤務先     | 〒023-0864 奥州市水沢区龍ヶ馬場3-11 水沢マル薬局<br>電話0197-51-7050 FAX0197-51-7051             |
| 奥州 | 遠藤久美子 | 勤務先及び支部 | 〒023-0864 奥州市水沢区字龍ヶ馬場61 県立胆沢病院薬剤科<br>電話0197-24-4121 FAX0197-24-8194 旧支部盛岡     |
| 奥州 | 佐藤隆夫  | 勤務先     | 無従事                                                                           |
| 奥州 | 下杉彩弥香 | 勤務先     | 〒023-1103 奥州市江刺区西大通り5-23 県立江刺病院<br>電話0197-35-2181 FAX0197-35-0530             |
| 奥州 | 高橋智子  | 勤務先及び支部 | 〒023-0864 奥州市水沢区字龍ヶ馬場61 県立胆沢病院<br>電話0197-24-4121 FAX0197-24-8194 旧支部気仙        |
| 奥州 | 松戸育子  | 勤務先     | 〒023-0864 奥州市水沢区字龍ヶ馬場61 県立胆沢病院<br>電話0197-24-4121 FAX0197-24-8194              |
| 奥州 | 渡邊誠   | 勤務先及び支部 | 無従事 旧支部北上                                                                     |
| 一関 | 奥尚    | 勤務先     | 〒029-0803 一関市千厩町千厩字草井沢32-1 県立千厩病院<br>電話0191-53-2101 FAX0191-52-3478           |
| 一関 | 小野寺敦子 | 勤務先名称   | イオン薬局一関店                                                                      |
| 一関 | 小野寺功  | 支部      | 旧支部 気仙                                                                        |
| 一関 | 佐藤美和子 | 勤務先及び支部 | 〒029-0131 一関市狐禅寺字大平17 県立南光病院<br>電話0191-23-3655 FAX0191-23-9690 旧支部北上          |
| 一関 | 田村満博  | 勤務先及び支部 | 〒021-0053 一関市山目字中野59-1 れもん薬局<br>電話0191-33-1510 FAX0191-33-1530 旧支部気仙          |
| 一関 | 千葉和久  | 勤務先及び支部 | 〒021-8503 一関市竹山町7-5 岩手県一関保健所<br>電話0191-26-1412 FAX0191-23-0579 旧支部盛岡          |
| 一関 | 芳賀教伸  | 勤務先及び支部 | 〒029-0711 一関市大東町大原字川内128 県立大東病院<br>電話0191-72-2121 FAX0191-72-2897 旧支部遠野       |
| 一関 | 村上めぐみ | 勤務先及び支部 | 〒029-0803 一関市千厩町千厩字草井沢32-1 県立千厩病院<br>電話0191-53-2101 FAX0191-52-3478 旧支部宮古     |
| 気仙 | 五日市治  | 勤務先及び支部 | 〒022-8502 大船渡市猪川町字前田6-1 大船渡保健福祉環境センター<br>電話0192-27-9913 FAX0192-27-4197 旧支部盛岡 |
| 気仙 | 工藤琢身  | 勤務先及び支部 | 〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越10-1 県立大船渡病院<br>電話0192-26-1111 FAX0192-27-9285 旧支部宮古    |
| 気仙 | 藤島理   | 勤務先及び支部 | 〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越10-1 県立大船渡病院<br>電話0192-26-1111 FAX0192-27-9285 旧支部一関    |
| 遠野 | 熊谷匠   | 勤務先及び支部 | 〒028-0541 遠野市松崎町白岩14-74 県立遠野病院<br>電話0198-62-2222 FAX0198-62-0113 旧支部釜石        |
| 遠野 | 八重樫敬一 | 勤務先及び支部 | 〒028-0541 遠野市松崎町白岩14-74 県立遠野病院<br>電話0198-62-2222 FAX0198-62-0113 旧支部一関        |
| 釜石 | 岡部由紀子 | 勤務先     | 〒026-0025 釜石市大渡町3-15-26 釜石のぞみ病院<br>電話0193-31-2300 FAX0193-31-2301             |
| 釜石 | 唐沢淳   | 勤務先及び支部 | 〒026-0025 釜石市大渡町3-15-26 釜石のぞみ病院<br>電話0193-31-2300 FAX0193-31-2301 旧支部宮古       |
| 釜石 | 照井絹子  | 勤務先     | 〒028-1111 大槌町新町305-11 ハーブ薬局<br>電話0193-55-4360 FAX0193-55-4361                 |
| 宮古 | 桑畑竹志  | 勤務先及び支部 | 〒027-0096 宮古市崎嶽ヶ崎1-11-26 県立宮古病院<br>電話0193-62-4011 FAX0193-63-6941 旧支部遠野       |
| 宮古 | 日山禮子  | 勤務先     | 無従事                                                                           |

| 支部 | 氏名     | 変更事項    | 変更内容                                                                    |
|----|--------|---------|-------------------------------------------------------------------------|
| 久慈 | 鈴木 正   | 勤務先及び支部 | 〒028-8040 久慈市旭町10-1 県立久慈病院<br>電話0194-53-6131 FAX0194-52-2601 旧支部釜石      |
| 久慈 | 野中 由里子 | 勤務先及び支部 | 〒028-8040 久慈市旭町10-1 県立久慈病院<br>電話0194-53-6131 FAX0194-52-2601 旧支部二戸      |
| 二戸 | 五日市 恭子 | 勤務先     | 〒028-6104 二戸市米沢字下村12-11 (株)小田島二戸支店<br>電話0195-25-4215 FAX0195-23-5550    |
| 二戸 | 大久保 静恵 | 勤務先及び支部 | 〒028-5312 一戸町一戸字砂森60-1 県立一戸病院<br>電話0195-33-3101 FAX0195-32-2171 旧支部一関   |
| 二戸 | 近藤 幸美  | 勤務先     | 〒028-6105 二戸市堀野字大川原毛112-2 福岡調剤薬局<br>電話0195-22-1788 FAX0195-22-1789      |
| 二戸 | 鈴木 宏尚  | 勤務先及び支部 | 〒028-5312 一戸町一戸字砂森60-1 県立一戸病院<br>電話0195-33-3101 FAX0195-32-2171 旧支部気仙   |
| 二戸 | 千葉 國彦  | 勤務先及び支部 | 〒028-6193 二戸市堀野字大川原毛38-2 県立二戸病院<br>電話0195-23-2191 FAX0195-23-2834 旧支部盛岡 |
| 二戸 | 野中 保宏  | 勤務先及び支部 | 〒028-6193 二戸市堀野字大川原毛38-2 県立二戸病院<br>電話0195-23-2191 FAX0195-23-2834 旧支部久慈 |
| 二戸 | 藤井 雅子  | 勤務先     | 〒028-6302 軽米町大字軽米2-54-5 県立軽米病院<br>電話0195-46-2411 FAX0195-46-3681        |
| 二戸 | 谷地 恵理子 | 勤務先及び支部 | 〒028-5312 一戸町一戸字砂森60-1 県立一戸病院<br>電話0195-33-3101 FAX0195-32-2171 旧支部盛岡   |

(5月 変更)

| 支部 | 氏名           | 変更事項           | 変更内容                                                                               |
|----|--------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 盛岡 | 小原 和雄        | 勤務先及び支部        | 無従事 旧支部釜石                                                                          |
| 盛岡 | 関 英典         | 勤務先            | 〒020-0151 滝沢村大釜字吉水104-1 おおがま薬局<br>電話019-684-1200 FAX019-684-1211                   |
| 盛岡 | 竹花 澄子        | 勤務先            | 無従事                                                                                |
| 盛岡 | 田村 剛         | 勤務先及び支部        | 〒020-8570 盛岡市内丸10-1 県保健福祉部健康国保課<br>電話019-629-5467 FAX019-629-5474 旧支部気仙            |
| 盛岡 | 田村 舞         | 氏名・勤務先<br>及び支部 | 〒020-0161 滝沢村篠木字黒畑135-8 (株)メデイセオ盛岡支店<br>旧姓 高橋 電話019-687-4800 FAX019-687-4808 旧支部北上 |
| 盛岡 | 長谷川 浩永       | 勤務先及び支部        | 〒020-0866 盛岡市本宮1-6-12 荻野病院<br>電話019-636-0317 旧支部二戸                                 |
| 盛岡 | 吉田 博         | 勤務先            | 〒020-0866 盛岡市本宮6-2-32 オリーブ薬局<br>電話019-631-2165 FAX019-631-2166                     |
| 賛助 | 大塚製薬(株)盛岡出張所 | 住所・電話及<br>びFAX | 〒020-0021 盛岡市中央通1-7-25朝日生命盛岡中央通ビル<br>電話019-908-2084 FAX019-908-2085                |
| 花巻 | 西館 利香        | 勤務先及び支部        | 〒028-0115 花巻市東和町安俵6-75-1 県立東和病院薬剤科<br>電話0198-42-2211 FAX0198-42-4417 旧支部奥州         |
| 北上 | 福盛田 新        | 勤務先            | 〒024-0084 北上市さくら通り2-2-28 きたかみ中央薬局<br>電話0197-65-7550 FAX0197-65-7560                |
| 北上 | 福山 真希子       | 勤務先及び支部        | 〒024-8507 北上市村崎野17-10 県立中部病院<br>電話0197-71-1511 FAX0197-71-1414 旧支部花巻               |
| 奥州 | 奥野 正人        | 勤務先            | 〒023-0833 奥州市水沢区上姉体6-6-1 すみれ薬局マイアネ店<br>電話0197-28-1800 FAX0197-26-5588              |
| 奥州 | 佐山 英明        | 勤務先            | 〒028-1111 大槌町新町8-14 県立大槌病院<br>電話0193-42-2121 FAX0193-42-4193                       |
| 奥州 | 平船 浩人        | 勤務先及び支部        | 〒023-1103 奥州市江刺区西大通り5-23 県立江刺病院<br>電話0197-35-2181 FAX0197-35-0530 旧支部二戸            |
| 一関 | 阿部 淳子        | 勤務先            | 〒029-3105 一関市花泉町涌津字上原29-2 あさひ調剤薬局<br>電話0191-82-2184 FAX0191-82-5312                |
| 一関 | 遠藤 亜弥        | 勤務先及び支部        | 〒029-0803 一関市千厩町千厩字草井沢32-1 県立千厩病院<br>電話0191-53-2101 FAX0191-52-3478 旧支部北上          |
| 一関 | 菊地 英行        | 勤務先及び支部        | 〒029-0192 一関市狐禅寺字大平17 県立磐井病院<br>電話0191-23-3452 FAX0191-23-9691 旧支部花巻               |
| 一関 | 佐藤 徹         | 勤務先名称          | イオン薬局一関店                                                                           |
| 気仙 | 及川 由美子       | 勤務先            | 無従事                                                                                |
| 気仙 | 田中 博         | 勤務先            | 〒029-2204 陸前高田市気仙町字中堰34 県立高田病院<br>電話0192-54-3221 FAX0192-55-5241                   |
| 気仙 | 新沼 勉         | 勤務先            | 〒022-0004 大船渡市猪川町中井沢7-7 どりーむ薬局<br>電話0192-21-3300 FAX0192-26-1200                   |
| 気仙 | 松田 理恵        | 氏名             | 旧姓 菊地                                                                              |

| 支部 | 氏名    | 変更事項    | 変更内容                                                                    |
|----|-------|---------|-------------------------------------------------------------------------|
| 宮古 | 加藤 武男 | 勤務先及び支部 | 〒028-1321 山田町山田5-66-1 県立山田病院薬剤科<br>電話0193-82-2111 FAX0193-82-0074 旧支部奥州 |
| 宮古 | 齋藤 純哉 | 勤務先及び支部 | 〒027-0096 宮古市崎ヶ崎1-11-26 県立宮古病院<br>電話0193-62-4011 FAX0193-63-6941 旧支部北上  |
| 二戸 | 近藤 幸美 | 勤務先     | 〒028-6105 二戸市堀野馬場7-6 中央調剤薬局<br>電話0195-22-2505 FAX0195-22-2506           |

(6月 変更)

| 支部 | 氏名     | 変更事項      | 変更内容                                                                          |
|----|--------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 盛岡 | 岩城 十志子 | 勤務先       | 〒028-4303 岩手町大字江刈内10-49-1 オーロラ薬局沼宮内店<br>電話0195-61-3883 FAX0195-62-6868        |
| 盛岡 | 大仁田 泰江 | 氏名及び勤務先   | 〒020-0151 滝沢村大釜字吉水103-1 栃内第二病院<br>旧姓 砂子田 電話019-684-1111 FAX019-684-1114       |
| 盛岡 | 熊谷 浩子  | 勤務先       | 無従事                                                                           |
| 盛岡 | 近藤 昭宏  | 勤務先       | 〒028-3441 紫波町上平沢字川原田23-26 (有)エール薬局<br>電話019-673-8588 FAX019-673-8588          |
| 盛岡 | 鈴木 純   | 勤務先       | 〒020-0173 滝沢村滝沢字菓子1178-20 ゆうゆう調剤薬局<br>電話019-688-5553 FAX019-688-6208          |
| 盛岡 | 千葉 恵   | 勤務先       | 〒028-3603 矢巾町大字西徳田6-144 薬王堂薬局西徳田店<br>電話019-681-7361 FAX019-681-7362           |
| 盛岡 | 平田 佳子  | 勤務先名称     | 薬のまつぞの                                                                        |
| 花巻 | 河東田 利香 | 勤務先       | 〒025-0096 花巻市藤沢町56-1 調剤薬局ツルハドラッグ藤沢町店<br>電話0198-24-9915 FAX0198-24-9914        |
| 花巻 | 鎌田 邦孝  | 勤務先       | 〒025-0053 花巻市中北万丁目834-1 花調きたまん薬局<br>電話0198-21-5551 FAX0198-21-5552            |
| 花巻 | 鎌田 忠造  | 勤務先       | 無従事                                                                           |
| 花巻 | 菊池 敦子  | 勤務先       | 〒025-0075 花巻市花城町3-19 花城薬局<br>電話0198-23-5764 FAX0198-22-4060                   |
| 花巻 | 細越 直子  | 勤務先       | 〒025-0065 花巻市星が丘1-8-20 ほしがおか・花城薬局<br>電話0198-23-5388 FAX0198-23-6066           |
| 奥州 | 千田 由希子 | 勤務先       | 〒020-0173 滝沢村滝沢字菓子1178-20 ゆうゆう調剤薬局<br>電話019-688-5553 FAX019-688-6208          |
| 一関 | 伊藤 拓見  | 勤務先       | 無従事                                                                           |
| 気仙 | 佐藤 大樹  | 勤務先及び支部   | 〒022-8512 大船渡市大船渡町山馬越10-1 県立大船渡病院<br>電話0192-26-1111 FAX0192-27-9285 旧支部一関     |
| 気仙 | 千葉 みや子 | 勤務先       | 無従事                                                                           |
| 遠野 | 佐々木 道典 | 勤務先及び支部   | 〒028-0523 遠野市中央通り6-11 (有)小田島薬局 はやちね薬局<br>電話0198-63-3050 FAX0198-62-4001 旧支部釜石 |
| 遠野 | 関 知則   | 支部        | 旧支部 花巻                                                                        |
| 釜石 | 青木 清郎  | 勤務先       | 無従事                                                                           |
| 釜石 | 及川 典彦  | 勤務先       | 無従事                                                                           |
| 宮古 | 阿部 美恵子 | 勤務先       | 〒028-1341 山田町八幡町12-8-2 川向薬局<br>電話0193-81-1730 FAX0193-81-1747                 |
| 宮古 | 千坂 清一  | 勤務先       | 〒028-1341 山田町八幡町12-8-2 川向薬局<br>電話0193-81-1730 FAX0193-81-1747                 |
| 宮古 | 千坂 マリ子 | 勤務先       | 〒028-1341 山田町八幡町12-8-2 川向薬局<br>電話0193-81-1730 FAX0193-81-1747                 |
| 宮古 | 武藤 貞夫  | 勤務先       | 〒028-1341 山田町八幡町12-8-2 川向薬局<br>電話0193-81-1730 FAX0193-81-1747                 |
| 宮古 | 武藤 洋子  | 勤務先住所及び電話 | 〒028-1341 山田町八幡町<br>電話0193-82-4750                                            |

3月退会

(盛岡) 伊藤 文昭、太田 善三、小野寺持久、齋藤友理子、朴田 真美、山田 潤子  
 (花巻) 軽石 弘子、村上 和子 (宮古) 坂下祈世子 (二戸) 神植 達也  
 (賛助) 松井 博史 (株)マイカル)

4月退会

(盛岡) 内野優紀美、小原 瞳、斉藤 潤、成瀬千鶴子 (北上) 齊藤 暁子 (一関) 大志田嘉子  
(気仙) 遠藤 賢浩

5月退会

(盛岡) 安部 次美、菅野由紀子 (北上) 大川 憲、佐藤るり子 (奥州) 泉澤万里子

6月退会

(盛岡) 荻野 正子、角田 千恵、久保田 奏、佐藤 香織、中村 倫子 (北上) 松尾 拓洋  
(奥州) 鈴木 英明、高橋 清記、高橋由美子 (一関) 田中 桂 (気仙) 渡部 勝  
(二戸) 齋藤 貴将 (賛助) 田中 秀行 (田中薬局)

会 員 数

|               | 正 会 員  | 賛助会員 | 合 計    |
|---------------|--------|------|--------|
| 平成23年 6月30日現在 | 1,651名 | 100名 | 1,751名 |
| 平成22年 6月30日現在 | 1,649名 | 104名 | 1,753名 |

訃 報

気仙支部 黄川田美美子 平成23年 3月11日逝去 気仙支部 金野 亨 平成23年 3月11日逝去  
 宮古支部 船越由香子 平成23年 3月11日逝去 宮古支部 船越 由枝 平成23年 3月11日逝去  
 盛岡支部 中村 順吉 平成23年 4月20日逝去 北上支部 牛崎 薫 平成23年 5月 3日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



新たに指定された保険薬局

| 支部名 | 指定年月日     | 薬局名称      | 開設者名  | 〒        | 住所                  | TEL          |
|-----|-----------|-----------|-------|----------|---------------------|--------------|
| 釜石  | H23.04.01 | しおかぜ調剤薬局  | 佐々木道典 | 026-0023 | 釜石市天神町1-6           |              |
| 釜石  | H23.04.01 | ハーブ薬局     | 高橋 義利 | 028-1111 | 上閉伊郡大槌町新町305-11     | 0193-55-4360 |
| 盛岡  | H23.05.01 | おおがま薬局    | 青木 泰樹 | 020-0151 | 滝沢村大釜字吉水104-1       | 019-684-1200 |
| 北上  | H23.05.01 | 太陽薬局      | 藤原 勇雄 | 029-5505 | 西和賀町湯本29-70-22      | 0197-82-2120 |
| 気仙  | H23.06.01 | とうごう薬局    | 富山 泰庸 | 029-2203 | 陸前高田市竹駒町字細根沢2       |              |
| 盛岡  | H23.06.01 | 薬王堂薬局西徳田店 | 西郷 辰弘 | 028-3603 | 紫波郡矢巾町大字西徳田第6地割144番 | 019-681-7361 |
| 宮古  | H23.07.01 | 田老調剤薬局    | 熊谷壮一郎 | 027-0373 | 宮古市田老字向新田148<br>2階  | 0193-87-5501 |
| 気仙  | H23.07.01 | 気仙中央薬局高田店 | 金野 亨  | 029-2206 | 陸前高田市米崎町字野沢18-1     | 0192-53-1250 |
| 奥州  | H23.07.01 | みどり薬局西町店  | 安藤 早苗 | 023-0816 | 奥州市水沢区西町5-22        | 0197-51-1517 |
| 宮古  | H23.07.01 | 山田調剤薬局    | 熊谷壮一郎 | 028-1311 | 山田町大沢第13地割197番地     | 0193-82-3224 |



# 求人情報



| 受付日      | 種別   | 勤務地          | 求人者名           | 勤務時間        |                         | 休日                 | その他               |
|----------|------|--------------|----------------|-------------|-------------------------|--------------------|-------------------|
|          |      |              |                | 平日          | 土曜日                     |                    |                   |
| 23.6.28  | 病院   | 陸前高田市高田町字大隈  | 希望ヶ丘病院         | 8:30～17:15  | -                       | 土日祝祭日              |                   |
| 23.6.19  | 保険薬局 | 香川県高松市香川町大野  | おおの調剤薬局        |             |                         |                    | 要：被災証明書住宅、車両等無償貸与 |
| 23.6.17  | 保険薬局 | 大船渡市大船渡町字山馬越 | 気仙中央薬局         | 8:00～19:00  | 9:00～13:00              | 日・祝祭日、土曜日隔週        |                   |
| 23.5.30  | 保険薬局 | 盛岡市上田1       | リーブ薬局          | 応相談         | 応相談                     | 応相談                | パート               |
| 23.5.30  | 保険薬局 | 盛岡市上田1       | リード薬局          | 8:00～19:00  | 9:00～13:00              | 日・祝祭日土曜日隔週         |                   |
| 23.5.26  | 保険薬局 | 久慈市旭町        | ホソタ薬局          | 9:00～18:00  | -                       | 土、日、祝祭日            |                   |
| 23.5.26  | 保険薬局 | 盛岡市繫尾入野      | そうごう薬局盛岡つなぎ店   | 9:00～18:00  | 9:00～13:00<br>(第1.3.5)  | 日、祝祭日4週6休以上        | 週40時間シフト          |
| 23.5.26  | 保険薬局 | 陸前高田市気仙町字中堰  | そうごう薬局高田店      | 8:30～18:00  | 9:00～13:00              | 土、日、祝祭日            | 週40時間シフト          |
| 23.5.26  | 保険薬局 | 大東町大原字立町113  | そうごう薬局大原店      | 9:00～18:00  | -                       | 土、日、祝祭日            | 週40時間シフト          |
| 23.5.26  | 保険薬局 | 住田町世田米       | そうごう薬局住田店      | 9:00～18:00  | -                       | 土、日、祝祭日            | 週40時間シフト          |
| 23.2.17  | 保険薬局 | 岩手町江刈内10三本松  | そうごう薬局岩手町店     | 9:00～18:00  | 9:00～13:00              | 日、祝祭日              | 週40時間シフト          |
| 23.4.25  | 病院   | 宮古市山口5       | 宮古山口病院         | 8:20～17:20  | -                       | 土・日・祝祭日            | 完全週休二日制           |
| 23.4.26  | 病院   | 盛岡市津市田       | 川久保病院          | 8:45～17:15  | 8:45～12:30              | 日、祝祭日              | 4週6休              |
| 23.4.11  | 保険薬局 | 和歌山県紀の川市     | 粉河本町薬局         | 9:00～18:00  | 9:00～12:30              | 日・祝祭日              | 移動費用一部負担社宅用意      |
| 23.3.29  | その他  | 盛岡市上田字松屋敷    | 盛岡少年刑務所        | 13:00～16:00 | -                       | 土・日・祝祭日            |                   |
| 23.3.2   | 保険薬局 | 一関市大手町7      | 大手町薬局          | 9:00～18:00  | 9:00～13:00              | 日・祝祭日              |                   |
| 23.2.25  | 病院   | 盛岡市下米内2      | 中津川病院          | 8:30～17:15  | 8:30～12:30              | 土・日・祝祭日            | 土曜勤務は月1回程度        |
| 23.2.18  | 保険薬局 | 遠野市中央通6      | 小田島薬局          | 8:30～17:30  | 8:30～12:30              | 日、祝祭日<br>(週休二日)    |                   |
| 23.2.14  | 保険薬局 | 一関市山田字泥田89   | マイカル一関サティ内調剤薬局 | 15:00～21:00 | 15:00～21:00<br>(土・日交代制) | 交代制                | パート               |
| 23.2.4   | 保険薬局 | 陸前高田市小友町字下新田 | 小友調剤薬局         | 8:30～17:30  | 8:30～12:30              | 日、祝祭日、水曜日          | パート可              |
| 23.2.4   | 保険薬局 | 二戸市石切所字森合    | 木いちご薬局         | 9:00～18:00  | 9:00～13:00              | 日・祝祭日              | 週40時間             |
| 23.2.4   | 保険薬局 | 盛岡市月が丘1      | みつばち薬局         | 9:00～18:00  | 9:00～13:00              | 日・祝祭日              | 週40時間             |
| 23.1.31  | 保険薬局 | 花巻市西大通り      | パール薬局          | 8:30～18:30  | 8:30～13:00<br>(木・土)     | 木、土の午後日、祝祭、お盆、年末年始 | パート可保育料の補助あり      |
| 22.12.27 | 保険薬局 | 山田町境田町       | クリス薬局          | 8:00～17:30  | 8:00～12:30              | 日・祝祭日              |                   |
| 22.12.17 | 病院   | 盛岡市館向町       | 高松病院           | 8:30～17:30  | 8:30～12:30              | 日祝祭日土曜日交代          | 常勤・パート各1名         |
| 22.12.13 | 保険薬局 | 宮古市向町        | 健康堂薬局          | 9:00～17:00  | 9:00～13:00              | 日・祝祭日              | パート可              |
| 22.11.17 | 病院   | 宮古市山口5       | 宮古山口病院         | 8:20～17:20  | --                      | 土・日・祝祭日            | 完全週休二日制           |
| 22.11.11 | 保険薬局 | 盛岡市三本柳11     | ワカバ薬局          | 8:30～18:30  | 8:30～13:30              | 日・祝祭日              | シフト制ありパート可        |
| 22.10.15 | 保険薬局 | 宮古市小山田二丁目    | 薬王堂宮古小山田店      | 応相談         | 応相談                     | 応相談                | パート可              |
| 22.9.18  | 病院   | 一関市孤禅寺字大平17  | 県立南光病院         | 8:30～17:30  | --                      | 土日祝祭日              | パート産休職員の補充        |
| 22.9.7   | 保険薬局 | 北上市上江釣子16    | くるみ薬局          | 8:45～18:15  | 8:45～12:45              | 日祝祭日、第1、3水曜日       | パート               |
| 22.8.25  | 保険薬局 | 盛岡市本宮字宮沢     | 銀河調剤           | 9:00～18:00  | 9:00～18:00<br>(月1回)     | 土日祝祭日              |                   |

| 受付日     | 種別   | 勤務地        | 求人者名            | 勤務時間                 |                       | 休日                 | その他             |
|---------|------|------------|-----------------|----------------------|-----------------------|--------------------|-----------------|
|         |      |            |                 | 平日                   | 土曜日                   |                    |                 |
| 22.8.3  | 保険薬局 | 盛岡市上田4     | あおい薬局           | 8:30～18:00           | 8:30～12:30<br>(木・土曜日) | 日祝祭日               |                 |
| 22.7.29 | 病院   | 盛岡市本宮1     | 荻野病院            | 9:00～17:30           | 9:00～12:30            | 日祝祭日               | パート可            |
| 22.7.28 | 保険薬局 | 盛岡市南仙北3    | オーロラ薬局          | 9:00～17:30           | 9:00～12:45            | 日祝祭日<br>(4週6休)     | パート可            |
| 22.7.28 | 保険薬局 | 岩手町大字江刈内10 | オーロラ薬局沼宮内店      | 9:00～17:30           | 9:00～12:45            | 日祝祭日<br>(4週6休)     | パート可            |
| 22.7.16 | 保険薬局 | 西和賀町湯本30   | かじか薬局           | 9:00～18:00           | -                     |                    | パート週1回月<br>曜日出勤 |
| 22.6.10 | その他  | 盛岡市内丸19-1  | 岩手医科大学          | 8:30～17:00           | 8:30～12:30            | 日祝祭日第2,<br>3, 5土曜日 | 治験コーディネ<br>ータ   |
| 22.6.9  | 病院   | 矢巾町大字広宮沢1  | 南昌病院            | 9:00～17:45           | -                     | 土・日・祝祭<br>日        | パート可            |
| 22.5.20 | 保険薬局 | 盛岡市中太田泉田66 | フォレスト薬局盛岡店      | 9:00～18:00           | 9:00～18:00            | 日、祝祭日              | パート可            |
| 22.5.20 | 保険薬局 | 花巻市石鳥谷町新堀8 | フォレスト薬局石鳥谷<br>店 | 8:30～17:30<br>(日、平日) | 8:30～17:30            | 月、祝祭日              | パート可            |
| 22.4.27 | 保険薬局 | 北上市上江釣子    | フジ調剤薬局          | 9:00～18:00           | 9:00～14:00            | 日祝祭日               | パート可            |
| 22.4.9  | 保険薬局 | 金ヶ崎町西根古寺14 | さつき薬局           | 8:30～17:30           |                       | 土日祝祭日              | パート可            |
| 22.4.9  | 保険薬局 | 花巻市高木第18地割 | こしおう薬局          | 9:00～18:00           | 9:00～13:00<br>(水・土曜)  | 土日祝祭日              | パート可            |

■岩手県薬剤師会【薬剤師無料職業紹介所】では、求人、求職ともそれぞれ、「求人票」、「求職票」を登録のうえでのご紹介となっております。登録をご希望のかたは、直接来館または、「求人票」「求職票」を送付いたしますので県薬事務局（電話 019-622-2467）までご連絡ください。受付時間は（月～金／9時～12時、13時～17時）です。なお、登録については受付日～三カ月間（登録継続の連絡があった場合を除く）とします。



## 図書紹介

### 1. 「薬剤師業務のさらなる展開～患者中心のケアを目指して～ 2006年版ハンドブック」

発行 メディカル ドゥ  
判型 A 5判 本文140頁＋別冊32頁  
定価 2,800円（税込）  
会員価格 2,500円（税込）  
送料 ①10冊以上同一箇所に送付の場合無料  
②1冊あたり80円、1冊増すごとに80円追加

### 2. 「認知症の治療とケア」

発行 じほう  
判型 A 5判 207頁  
定価 2,730円（税込）  
会員価格 2,400円（税込）  
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
②個人宛一律500円、10冊以上同一箇所に送付の場合無料

### 3. 「第十六改正日本薬局方（条文）」

発行 じほう  
判型 B 5判 2,380頁  
定価 29,400円（税込）  
会員価格 26,460円（税込）  
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
②個人宛一律500円、10冊以上同一箇所に送付の場合無料

### 4. 「第十六改正日本薬局方（条文）・JPDI日本薬局方医薬品情報2011セット版」

発行 じほう  
判型 B 5判 条文2,380頁 JPDI2,400頁  
定価 36,750円（税込）  
会員価格 33,000円（税込）  
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
②個人宛一律500円、10冊以上同一箇所に送付の場合無料

### 5. 「薬価基準点数早見表 平成23年4月版」

発行 じほう  
判型 A 5判 950頁  
定価 3,780円（税込）  
会員価格 1,950円（税込）  
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
②個人宛一律500円、10冊以上同一箇所に送付の場合無料

### 6. 「保険薬事典 平成23年8月版」

発行 じほう  
判型 A 5判 850頁  
定価 4,620円（税込）  
会員価格 4,160円（税込）  
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
②個人宛一律500円、10冊以上同一箇所に送付の場合無料

7. 「保険薬事典プラス 平成23年 8 月版」  
 発行 じほう  
 判型 A 5 判 950 頁  
 定価 4,830 円 (税込)  
 会員価格 4,350 円 (税込)  
 送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
 ②個人宛一律500円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料
8. 「レセプト事務のための薬効・薬価リスト 平成23年版」  
 発行 じほう  
 判型 B 5 判 1,000 頁  
 定価 6,825 円 (税込)  
 会員価格 6,100 円 (税込)  
 送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
 ②個人宛一律500円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料
9. 「投薬禁忌リスト 平成23年版」  
 発行 じほう  
 判型 B 5 判 630 頁  
 定価 4,095 円 (税込)  
 会員価格 3,570 円 (税込)  
 送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
 ②個人宛一律500円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料
10. 「ジェネリック医薬品リスト 平成23年 8 月版」  
 発行 じほう  
 判型 A 5 判 600 頁  
 定価 2,940 円 (税込)  
 会員価格 2,520 円 (税込)  
 送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
 ②個人宛一律500円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料
11. 「OTC医薬品対応マニュアル」  
 発行 薬事日報社  
 判型 B 5 判 247 頁  
 定価 2,940 円 (税込)  
 会員価格 2,700 円 (税込)  
 送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
 ②個人宛一律450円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料
12. 「薬剤師のための疾患別薬物療法Ⅱ 精神・  
 脳神経系疾患／消化器疾患」  
 発行 南江堂  
 判型 A 4 判 158 頁

定価 3,885 円 (税込)  
 会員価格 3,500 円 (税込)  
 送料 ①県薬に送付の場合無料  
 ②個人宛一律525円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料

13. 「薬局・薬剤師のための調剤事故防止マニュアル 第2版」  
 発行 薬事日報社  
 判型 B 5 判 124 頁  
 定価 2,940 円 (税込)  
 会員価格 2,600 円 (税込)  
 送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
 ②個人宛一律450円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料
14. 「賢いジェネリック医薬品との付き合い方」  
 発行 メディカル ドゥ  
 判型 A 5 判 172 頁  
 定価 2,940 円 (税込)  
 会員価格 2,640 円 (税込)  
 送料 ①10冊以上同一箇所に送付の場合無料  
 ②1冊あたり80円、1冊増すごとに  
 80円追加
15. 「薬剤師のための研究発表術 ―ワンステップ上を目指す臨床薬剤師のために―」  
 発行 メディカル ドゥ  
 判型 A 5 判 192 頁  
 定価 2,940 円 (税込)  
 会員価格 2,640 円 (税込)  
 送料 ①10冊以上同一箇所に送付の場合無料  
 ②1冊あたり80円、1冊増すごとに  
 80円追加
16. 「薬剤師が知っておきたい法律・制度」  
 発行 じほう  
 判型 B 5 判 300 頁  
 定価 2,415 円 (税込)  
 会員価格 2,200 円 (税込)  
 送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料  
 ②個人宛一律500円、10冊以上  
 同一箇所に送付の場合無料
17. 「薬剤識別コード事典 平成23年改訂版」  
 発行 医薬ジャーナル  
 判型 A B 判 500 頁  
 定価 5,040 円 (税込)  
 会員価格 4,032 円 (税込)  
 送料 無料

☆図書の購入申し込みは、専用の申し込み用紙で、県薬事務局までFAXして下さい。

専用の申し込み用紙は、県薬ホームページ会員のページからダウンロードしてご利用下さい。

県薬ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

会員のページ ユーザー名 iwayaku  
 パスワード ipa2210

**編集後記**

東日本大震災にて亡くなられた方々へ哀悼の意を表するとともに被災された皆様へお見舞いを申し上げます。本来であれば5月にNO.25、7月にNO.26を発刊の予定で編集活動していたところでしたが、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（M9.0、最大震度7）による津波を中心とする大震災により編集作業が中断してしまいました。地震から3ヶ月が経過した6月になってやっと編集委員会を統括する広報委員会を開催し、発行予定の検討を行いました。6月にNO.25、8月にNO.26を発行してはとの意見も出されましたが、今回は震災からの復興号として、NO.25とNO.26の合併号として発行させていただくこととしました。本誌を心待ちにしていた会員諸氏には申し訳なく思いますが、ご了解いただきたいと存じます。今後、震災関連の記事を募集の予定です。引き続きたくさんの方の投稿・寄稿をよろしくお願い致します。被災地の日も早い復興を！！  
（広報担当副会長：宮手）

・・・・・・・・ お知らせ ・・・・・・・・

岩手県薬剤師会館はお盆のため **平成23年8月15日(月)、16日(火)** は休館いたします。

(社) 岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 **iwayaku**  
パスワード **ipa2210**

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。

会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail [ipalhead@rose.ocn.ne.jp](mailto:ipalhead@rose.ocn.ne.jp)

(アイ・ピー・エー・イチ・エイチ・イー・エー・ディー)

|     |                                               |                                                                                                                                                                                  |
|-----|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 編 集 | 担当副会長<br>担当理事(広報委員会)<br>編集委員(編集委員会)<br>支部編集委員 | 宮手義和<br>畑澤昌美、中田義仁、高林江美、押切昌子、工藤琢身、坂本秀樹<br>高林江美、高野浩史、鈴木可奈子、安倍 奨<br>高野浩史(盛岡)、伊藤勝彦(花巻)、三浦正樹(北上)、<br>千葉千香子(奥州)、阿部淳子(一関)、金野良則(気仙)、<br>関 知則(遠野)、佐竹尚司(釜石)、船越祐子(宮古)、<br>細田初実(久慈)、松尾智仁(二戸) |
|-----|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第25・26合併号

|                      |                                                                                                                                               |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第25・26合併号(奇数月1回末日発行) | 平成23年8月9日 印刷<br>平成23年8月10日 発行                                                                                                                 |
| 発行者 社団法人 岩手県薬剤師会     | 会長 畑澤博巳                                                                                                                                       |
| 発行所 社団法人 岩手県薬剤師会     | 〒020-0876 盛岡市馬場町3番12号<br>TEL (019) 622-2467 FAX (019) 653-2273<br>e-mail <a href="mailto:ipalhead@rose.ocn.ne.jp">ipalhead@rose.ocn.ne.jp</a> |
| 印刷所 杜陵高速印刷株式会社       | 〒020-0811 盛岡市川目町23番2号 盛岡中央工業団地<br>TEL (019) 651-2110 FAX (019) 654-1084                                                                       |

# 岩手県医薬品卸業協会

## 株式会社小田島

〒025-0008 岩手県花巻市空港南2-18

☎0198(26)4211

## 株式会社恒和薬品岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4-10-2

☎019(639)0755

## 株式会社ショウエー岩手営業本部

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(641)4455

## 株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

## 東邦薬品株式会社岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-4-12

☎019(638)8288

## 株式会社バイタルネット岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891

## 株式会社メディセオ東北支社岩手営業部

〒020-0161 岩手県岩手郡滝沢村篠木字黒畑135-8

☎019(687)4800



平泉

祝 世界遺産登録